

コードレス・モバイルリーダー パラメータ設定ガイド

対応機種
MODEL 1663



[illegible]

1. 本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。
2. 本取扱説明書の全部又は一部を無断で複製することはできません。
3. 本書内に記載されている製品名等の固有な名詞は各社の商標又は登録商標です。
4. 本書内において、万一誤り、記載漏れなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
5. 運用した結果の影響について、責任を一切負いかねます。

製品保証と注意事項

「保証期間」

本製品の保証期間は、ご購入日より1年間とさせていただきます。

「保証範囲」

保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、納入者側において機器の修理または交換を行います。但し、保証期間内であっても、次に該当する場合は、保証対象から除外させていただきます。

- 需要者側の不適当な取り扱いならびに使用
- 故障の原因が納入者以外の事由による場合
- 外装部品の損傷
- 自然劣化・消耗部品
- 需要者側で改造・修理を行った場合
- 天災地変による場合

尚、ここでいう保証は納入品単体の保障を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

「修理」

修理は全てドック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

「電波障害自主規制について」

本装置は米国通信規制「FCC 第15条補足J」による計算機器制約条件に適合しております。商業環境での使用において妥当な保護措置がなされています。しかし、住宅地域でのご使用は妨害（ラジオ・テレビなどの受信障害）が起ることがあります。

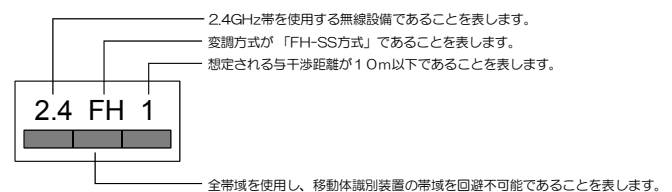
「その他」

- 納入品の価格には、サービス費用は一切含んでおりません。

■ 電波に関する注意 ■

- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
- 1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに使用場所を変更するか、電波の発射を停止してください。
- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の端末設備として、技術適合証明を受けています。本製品の分解/改造は違法となります。
- 交通機関内や医療機関内などでは、本製品のご使用はお控えください。電子機器や心臓ペースメーカーなどへの影響の可能性もあるため、ご利用に関しては各交通機関及び各医療機関の案内及び指示に従ってください。

■ 電波の種類と干渉距離 ■



「レーザーに関する注意」



IEC Class II

1664シリーズには、Iマ-としてIEC 60825 クラスII 準拠のレーザーを使用しています。読取窓を覗いたり、レーザービ-ムを直視することは絶対にしないでください。

安全上の注意

安全にお使い頂くために必ずお守りください。

警告・注意表示は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために守って頂きたい事項を示しています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読み下さい。

	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷の発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

	＜注意＞ 一般的な注意、警告、危険の通知を示しています。		＜禁止＞ 一般的な禁止を示しています。
	＜発火注意＞ 発火の可能性が想定されることを示しています。		＜水気禁止＞ 風呂、シャワーなどの水気の多い場所での使用を禁止することを示しています。
	＜感電注意＞ 感電の可能性が想定されることを示しています。		＜分解禁止＞ 製品の分解や改造を禁止することを示しています。
	＜破裂注意＞ 破裂の可能性が想定されることを示しています。		＜ケガ注意＞ 指を挟まれるなど、ケガを負う可能性が想定されることを示しています。



■本装置を絶対に分解しないで下さい。故障・感電（火災）の原因になります。



■直射日光が長時間当たる場所、粉塵の多い場所、湿気が異常に多い場所、水を扱う場所、暖房機器などの発熱物の近くなでは使用しないで下さい。故障・感電（火災）の原因になります。



■ケーブルに重いものを載せないで下さい。また、ケーブルをねじったり、強く引張ったりしないで下さい。ケーブルの被覆破れや断線が発生し、故障・感電（火災）の原因になります。



■引火性のガスや発火性の物質のある場所及び薬品や化学物質などを扱う場所では、絶対に使用しないで下さい。火災・爆発・故障の原因になります。



■故障した状態のまま使用しないで下さい。異臭がする、煙が出たなどの異常が生じた時は、すぐに接続している機器の電源をOFFにし、コネクタを抜いて下さい。感電（火災）の原因になります。





■使用可能な温度・湿度内で使用して下さい。故障の原因になります。



■濡れた手でケーブルの接続や取り外しを行わないで下さい。故障・感電の原因になります。



■長期的な振動（バイクの荷台や自転車での移動）や強いショック（落下）を与えないで下さい。
故障の原因になります。



■温度が激しく変化する場所（夏場の車内）や熱器具など熱を発生する物の近くに放置しないで下さい。
装置のケースが変形したり、故障の原因になります。



■不安定な場所（棚など）でのご使用や保管は避けて下さい。不用意な落下による故障やけがの原因になります。



■揮発性の高い有機溶剤（シンナー・ベンジンなど）や薬品、化学雑巾で拭かないでください。
また、殺虫剤を吹きかけないで下さい。ケースの変形や変色の原因になります。



INDEX

1. はじめに	9
2. システムソフト	10
2.1. 基本システムソフト	10
2.2. パラメータ設定値出力ソフト	11
3. リーダーの簡単セットアップ	12
3.1. インターフェイスの初期化	12
3.1.1. BT-HID インターフェイスの初期化 (PC/PDA/Bluetooth Dongle 経由)	12
3.1.2. BT-SPP スレーブ インターフェイスの初期化 (PC/PDA/Bluetooth Dongle 経由)	12
3.1.3. BT-SPP マスターインターフェイスの初期化 (PC/PDA/Bluetooth Dongle 経由)	13
3.1.4. Bluetooth PIN コードの初期化	15
3.1.5. デュアル USB インターフェイスの初期化	16
USB キーボード インターフェイスの初期化	16
USB バッテリ COM (USB-COM) インターフェイスの初期化	16
3.2. プリフィックス/サフィックスの初期化	17
3.2.1. プリフィックス:無し/サフィックス:無し	17
3.2.2. プリフィックス:無し/サフィックス:CR (エンターキー)	17
3.2.3. プリフィックス:無し/サフィックス:エンターキー (テンキー)	18
3.2.4. プリフィックス:無し/サフィックス:TAB キー	18
3.2.5. プリフィックス:無し/サフィックス:実行キー (右 CTRL)	19
3.2.6. プリフィックス:無し/サフィックス:実行キー (右 ALT)	19
3.2.7. プリフィックス:無し/サフィックス:CR/LF	20
3.2.8. プリフィックス:STX/サフィックス:ETX	21
4. 一般動作に関するパラメータ	22
4.1. ゲットリット LED/バックライト	22
4.2. ゲットリット LED/バックライトの長さ	22
4.3. ビープの音量	23
4.4. ローバッテリーアラーム機能	23
4.5. ゲットリットビープの音色	23
4.6. ゲットリットビープの長さ	24
4.7. ノーリット (NR) 送信	24
4.8. オートパワーオフ	25
4.9. パワーセービングモード	26
5. 読取動作に関するパラメータ	27
5.1. 読取モード	27
5.2. 読取タイムアウト	28
5.3. イミット タイムアウト	29
5.4. デコードデレイ	30
5.5. 同一コード 読取デレイ	30
5.6. 読取エリア	31
5.7. 初 (反転) バージョ	32
5.8. 読取照合回数 (全バーコード シンボル対象)	32
5.9. フォールト 読取照合回数	33
5.10. リーダーの動作に関する設定	34
5.10.1. アップバウンド間隔	34
5.11. タイムスタンプに関する設定	35
5.11.1. タイムスタンプ 付加位置	35
5.11.2. 日付/時刻出力指定	35
5.11.3. 年号フォーマット	36
5.11.4. 日付フォーマット	36
5.11.5. 日付/時刻のフォーマット	36
5.11.6. 日付/時刻の設定	38
6. インターフェイスに関するパラメータ	39
6.1. HID インターフェイス	39
6.1.1. キーボードタイプ	39
6.1.2. CAPS ロック	40
6.1.3. アルファベット送信	40
6.1.4. 数字送信	40

6.1.5. ファンクション間送信デレイ	41
6.1.6. HID 送信モード	41
6.2. パーチャル COM/SPP インターフェイス	42
6.2.1. ファンクション間送信デレイ	42
6.2.2. ACK/NAK タイムアウト	43
6.2.3. ACK/NAK リターン	43
7. バーコードシボールに関するパラメータ	44
7.1. コーダバ (NW7)	44
7.2. インタストリアル 2/5	45
7.3. インタリーブ 2/5	47
7.4. マトリクス 2/5	49
7.5. コード 39	51
7.6. コード 93	52
7.7. コード 128	52
7.8. ISBT-128	52
7.9. EAN-128 (GS1-128)	53
7.10. EAN-8 (JAN-8)	54
7.11. EAN-13 (JAN-13)	55
7.12. UPC-A	56
7.13. UPC-E	57
7.14. フリッツファーマコード & イタリアファーマコード	58
7.15. PLESSEY	58
7.16. MSI	59
7.17. RSS (GS1 Databar)	61
7.17.1. RSS-14 (GS1 Databar-14)	61
7.17.2. RSS-Expanded (GS1 Databar-Expanded)	62
7.17.3. RSS-Limited (GS1 Databar-Limited)	62
7.18. Telepen	63
8. データフォーマットに関する設定	64
8.1. 大文字・小文字変換送信	64
8.2. キャラクタ置換	65
8.2.1. キャラクタ置換適用バーコードシボール	66
8.3. プリフィックス/サフィックス	69
8.4. コード ID	70
8.4.1. ユーザーコード ID	71
8.5. 読取データ桁数	74
8.6. マルチバーコードデータ	76
9. データ編集機能に関する設定	78
9.1. 編集パターン設定開始	79
9.2. 適用条件	80
9.3. フィールド分界定義	83
9.4. フィールド送信順序	90
9.5. 編集パターンの有効化	91
10. メリ機能	92
10.1. 通信圏外メリ機能	92
10.2. バッチモード	93
補足 A キーボードコード表 & ASCII コード表	94
補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード表	95
補足 C シリアルコマンド	96
補足 D トラブルシューティング	97
補足 E サンプルバーコード	98
修理依頼書	100

1. はじめに

この度は、弊社 1663 シリーズ コードレス・モバイルリーダー（以下、リーダー）をお買い上げいただきありがとうございます。本書は、リーダーのパラメータ設定を行うために用意された別冊ガイドです。基本的な導入方法に関しては、製品に同梱されている導入ガイドを参照ください。

本書に掲載しているコマンドを読み取ることで、リーダーのインターフェイスや読み取りに関するパラメータ設定が行えます。設定されたパラメータは、不揮発性メモリに保存されるため、電源を切にして設定が消えることはありません。

2. システムコード

2.1. 基本システムコード

コードバーコード	説明
 8647116687323180	<u>設定開始</u> 左のコードバーコードをスキャンすると、設定モードに入ります。
 109999	<u>設定終了</u> 左のコードバーコードをスキャンすると、パラメータ変更内容を保存し、設定モードを終了します。
 109993	<u>全デフォルト</u> 左のコードバーコードをスキャンすると、全パラメータを工場出荷時の値にリセットします。
 109998	<u>設定キャンセル</u> 左のコードバーコードをスキャンすると、パラメータ変更内容を元の状態に戻します。続けて、「設定終了」をスキャンすることで、元の状態のまま、設定モードを終了することができます。
 109986	<u>カスタムデフォルトとして保存</u> 左のコードバーコードをスキャンすると、パラメータ変更内容をカスタムデフォルトとして保存します。
 109987	<u>カスタムデフォルトでリセット</u> 左のコードバーコードをスキャンすると、カスタムデフォルト値でリセットします。
 109997	<u>ファームウェアアップグレード</u> 左のコードバーコードをスキャンすると、ファームウェアアップグレードモードになります。 <u>ファームウェアファイル</u> Klxxx_V*.shx/STD1xxx_V.shx
 109927	<u>USBブリッジファームウェアアップグレード</u> 左のコードバーコードをスキャンすると、USBブリッジファームウェアアップグレードモードになります。 <u>ブリッジファームウェアファイル</u> KlxxxBridge_V*.shx/STD1xxxBridge_V.shx

2.2. パラメータ設定値出力コマンド

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 9 9 5 0	パラメータ設定値出力 パージ 1 出力内容 : インタフェース, プザー, その他バーコードリーダパラメータ	
 1 0 9 9 5 1	パラメータ設定値出力 パージ 2 出力内容 : プリフィックス, サフィックス, コードタイプ, コード桁数	
 1 0 9 9 5 2	パラメータ設定値出力 パージ 3 出力内容 : コード ID	
 1 0 9 9 5 3	パラメータ設定値出力 パージ 4 出力内容 : 読取コード	
 1 0 9 9 5 4	パラメータ設定値出力 パージ 5 出力内容 : 読取コードパラメータ (1/3)	
 1 0 9 9 5 5	パラメータ設定値出力 パージ 6 出力内容 : 読取コードパラメータ (2/3)	
 1 0 9 9 5 6	パラメータ設定値出力 パージ 7 出力内容 : 読取コードパラメータ (3/3)	
 1 0 9 9 5 7	パラメータ設定値出力 パージ 8 出力内容 : デイットフォーマット 1	
 1 0 9 9 5 8	パラメータ設定値出力 パージ 9 出力内容 : デイットフォーマット 2	
 1 0 9 9 5 9	パラメータ設定値出力 パージ 10 出力内容 : デイットフォーマット 3	
 1 0 9 9 3 7	パラメータ設定値出力 パージ 11 出力内容 : デイットフォーマット 4	
 1 0 9 9 3 8	パラメータ設定値出力 パージ 12 出力内容 : デイットフォーマット 5	
 1 0 9 9 3 9	パラメータ設定値出力 パージ 13 出力内容 : パワー, リアルタイムクロック	

3. リーダーの簡単セットアップ

3.1. インターフェイスの初期化

3.1.1. BT-HID インターフェイスの初期化(PC/PDA/Bluetooth Dongle経由)

上から順番に読み取ってください。

 8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定開始
 1 0 9 9 9 3	全デフォルト
 1 0 0 0 0 6	BT-HID I/F 設定
 1 0 9 9 0 7	キーボードタイプ番号 74 日本語 106/109 キーボード
 1 0 9 9 0 4	
 1 0 9 9 9 4	確定
 1 0 0 0 6 5	キャラクタ単位送信 パッチ送信 (高速モード) にする場合は、読み飛ばしてください。
 1 0 9 9 9 9	設定終了

- ※ デフォルトでは、PIN コード認証は有効になっています。また、PIN コードのデフォルト値は、「0000」です。
- ※ PIN コードの変更を行いたい場合は、「3.1.4. Bluetooth PIN コードの初期化」を参照ください。

既に接続済みの場合は、上から順番に読み取って、現在の接続を切断してください。

 8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定開始
 1 0 9 9 1 9	接続切断
 1 0 9 9 9 9	設定終了

3.1.2. BT-SPP スレーブ インターフェイスの初期化(PC/PDA/Bluetooth Dongle経由)

上から順番に読み取ってください。

 8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定開始
 1 0 9 9 9 3	全デフォルト
 1 0 0 0 0 3	BT-SPP スレーブ I/F 設定
 1 0 9 9 9 9	設定終了

- ※ デフォルトでは、PIN コード認証は有効になっています。また、PIN コードのデフォルト値は、「0000」です。
- ※ PIN コードの変更を行いたい場合は、「3.1.4. Bluetooth PIN コードの初期化」を参照ください。
- ※ 通信圏外からの自動接続復帰は行えません。

3.1.3. BT-SPP マスターインターフェイスの初期化(PC/PDA/Bluetooth Dongle 経由)

上から順番に読み取ってください。(無線式専用)

 8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定開始
 1 0 9 9 9 3	全デフォルト
 1 0 0 0 0 7	BT-SPP マスター I/F 設定
 1 0 9 9 9 9	設定終了

BD アドレスの設定

 8 8 6 8 6 4 7 1 1 6 6 2 5 4 BD アドレス設定 (設定開始/設定終了不要)	<u>接続先 BD アドレス設定</u> 左のマストパコードをスキャンした後、続けて 10 秒以内に 0X で始まる BD アドレスをインコードしたパコードをスキャンします。下記のパコードは、BD アドレス 00D0176F0030 をインコードした場合の例です。「BD アドレス設定」「0X00D0176F0030」の順でスキャンします。  0 X 0 0 D 0 1 7 6 F 0 0 3 0
	BD アドレスを 16 進数パコードで設定したい場合は、代わりに  1 0 0 1 5 0 BD アドレス設定 (16 進数) をスキャンし、続けて、次頁の「16 進数パコード」で BD アドレスを 16 進数でスキャンし、最後に「確定」をスキャンします。BD アドレス 00D0176F0030 の場合、「BD アドレス設定」「BD アドレス設定 (16 進数)」「0」「0」「D」「0」「1」「7」「6」「F」「0」「0」「3」「0」「確定」の順でスキャンします。

- ※ デフォルトでは、PIN コード認証は初になっています。また、PIN コードのデフォルト値は、「0000」です。
- ※ PIN コードの変更を行いたい場合は、「3.1.4. Bluetooth PIN コードの初期化」を参照ください。

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 0 7	BT-SPP マスター I/F 設定	
 1 0 9 9 1 9	接続リセット/BT-SPP マスター終了 設定された BD アドレスをクリアし、接続をリセットします。	
数値バーコード / 16 進数バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
A  1 0 9 9 1 0	B  1 0 9 9 1 1	
C  1 0 9 9 1 2	D  1 0 9 9 1 3	
E  1 0 9 9 1 4	F  1 0 9 9 1 5	
確定  1 0 9 9 9 4		

3.1.4. Bluetooth PIN コードの初期化

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 1 5 5	プリセット PIN コード (0000) を使用	0000
 1 0 0 1 5 4	PIN コードを使用しない。(ランダム PIN コード)	■
 1 0 9 9 7 3	PIN コードをクリア	
 1 0 0 1 5 0	<u>PIN コードを 16 進数 (Hex) で設定</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コードを 16 進数でスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定できる PIN コードは、最大 16 文字です。例えば、1234 に設定したい場合は、「設定開始」「PIN コードを 16 進数 (Hex) で設定」「3」「1」「3」「2」「3」「3」「3」「4」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	
 1 0 0 1 5 1	<u>PIN コードを 10 進数で設定</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで ASCII コードを 10 進数でスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定できる PIN コードは、最大 16 文字です。例えば、1234 に設定したい場合は、「設定開始」「PIN コードを 10 進数で設定」「4」「9」「5」「0」「5」「1」「5」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	
数値バーコード / 16 進数バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
A  1 0 9 9 1 0	B  1 0 9 9 1 1	
C  1 0 9 9 1 2	D  1 0 9 9 1 3	
E  1 0 9 9 1 4	F  1 0 9 9 1 5	
確定  1 0 9 9 9 4		

3.1.5. ダイレクト USB インターフェイスの初期化

ダイレクト USB インターフェイスを有効にした場合、メモリーで蓄積したデータを USB インターフェースケーブル経由で送信することができます。ダイレクト USB インターフェイスを無効にした場合は、Bluetooth 無線経由でデータ送信されます。

 #@100018#	ダイレクト USB インターフェイス 無効
--	-----------------------

USB キーボード インターフェイスの初期化

上から順番に読み取ってください。

 8647116687323180	設定開始
 100009	USB キーボード インターフェイス
 109907	日本語キーボード
 109904	
 109994	確定
 109999	設定終了

USB バージナル COM(USB-COM)インターフェイスの初期化

上から順番に読み取ってください。

 8647116687323180	設定開始
 100008	USB バージナル COM (USB-COM) インターフェイス
 109999	設定終了

USB バージナル COM ドライバ は下記より入手ください

<http://www.e-welcom.com/program/u306.zip>

3.2. フリックス/サフィックスの初期化

フリックスは読み取ったバーコードの前に付加される固定データ、サフィックスは読み取ったバーコードの後ろに付加される固定データです。

フリックス	バーコードデータ	サフィックス
-------	----------	--------

初期状態では、フリックス:無し、サフィックス:CR(Enterキー)です。変更が必要な場合は、下記から希望する専用メニューバーコードを順番に読み取ってください。任意の文字列を設定したい場合は、「8.3. フリックス/ポストフィックス」を参照ください。

3.2.1. フリックス:無し/サフィックス:無し

上から順番に読み取ってください。

 8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定開始
 1 0 1 2 3 0	フリックス:無し
 1 0 9 9 9 4	確定
 1 0 1 2 3 1	サフィックス:無し
 1 0 9 9 9 4	確定
 1 0 9 9 9 9	設定終了

3.2.2. フリックス:無し/サフィックス:CR(Enterキー)

上から順番に読み取ってください。

 8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定開始
 1 0 1 2 3 0	フリックス:無し
 1 0 9 9 9 4	確定
 1 0 1 2 3 1	サフィックス:CR (Enterキー)
 1 0 9 9 0 0	0
 1 0 9 9 1 3	D
 1 0 9 9 9 4	確定
 1 0 9 9 9 9	設定終了

3.2.3. プリフィックス:無し/サフィックス:エンターキー(テンキー)

上から順番に読み取ってください。

 8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定開始
 1 0 1 2 3 0	プリフィックス:無し
 1 0 9 9 9 4	確定
 1 0 1 2 3 1	サフィックス:エンターキー (テンキー)
 1 0 9 9 0 8	8
 1 0 9 9 1 5	F
 1 0 9 9 9 4	確定
 1 0 9 9 9 9	設定終了

3.2.4. プリフィックス:無し/サフィックス:TABキー

上から順番に読み取ってください。

 8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定開始
 1 0 1 2 3 0	プリフィックス:無し
 1 0 9 9 9 4	確定
 1 0 1 2 3 1	サフィックス:TABキー
 1 0 9 9 0 0	0
 1 0 9 9 0 9	9
 1 0 9 9 9 4	確定
 1 0 9 9 9 9	設定終了

3.2.5. プリフィックス:無し/サフィックス:実行キー(右 CTRL)

上から順番に読み取ってください。

 8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定開始
 1 0 1 2 3 0	プリフィックス:無し
 1 0 9 9 9 4	確定
 1 0 1 2 3 1	サフィックス:実行キー(右 CTRL)
 1 0 9 9 0 1	1
 1 0 9 9 1 2	C
 1 0 9 9 9 4	確定
 1 0 9 9 9 9	設定終了

3.2.6. プリフィックス:無し/サフィックス:実行キー(右 ALT)

上から順番に読み取ってください。

 8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定開始
 1 0 1 2 3 0	プリフィックス:無し
 1 0 9 9 9 4	確定
 1 0 1 2 3 1	サフィックス:実行キー(右 ALT)
 1 0 9 9 0 1	1
 1 0 9 9 1 3	D
 1 0 9 9 9 4	確定
 1 0 9 9 9 9	設定終了

3.2.7. プリフィックス:無し/サフィックス:CR/LF

上から順番に読み取ってください。

 8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定開始
 1 0 1 2 3 0	プリフィックス:無し
 1 0 9 9 9 4	確定
 1 0 1 2 3 1	サフィックス:CR/LF
 1 0 9 9 0 0	0
 1 0 9 9 1 3	D
 1 0 9 9 0 0	0
 1 0 9 9 1 0	A
 1 0 9 9 9 4	確定
 1 0 9 9 9 9	設定終了

3.2.8. プリフィックス:STX/サフィックス:ETX

上から順番に読み取ってください。

 8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定開始
 1 0 1 2 3 0	プリフィックス:STX
 1 0 9 9 0 0	0
 1 0 9 9 0 2	2
 1 0 9 9 9 4	確定
 1 0 1 2 3 1	サフィックス:ETX
 1 0 9 9 0 0	0
 1 0 9 9 0 3	3
 1 0 9 9 9 4	確定
 1 0 9 9 9 9	設定終了

4. 一般動作に関するパラメータ

4.1. グッドリッド LED/パイクレーション

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 0 1 3	グッド LED 点灯 無し	
 1 0 1 0 1 4	グッド LED 点灯 有り	■
 1 0 2 2 4 1	グッドパイクレーション動作 無し	■
 1 0 2 2 4 2	グッドパイクレーション動作 有り (パイクレーション搭載モデルのみ)	

4.2. グッドリッド LED/パイクレーションの長さ

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
LED  1 0 1 0 2 0 パイクレーション  1 0 2 2 5 3	グッドリッド LED/パイクレーションの長さ 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は 1~254 で、単位は LED が 10 ミリ秒、パイクが 100 ミリ秒です。例えば、LED を 2 秒に設定したい場合は、「設定開始」「読取タイムアウト」「2」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	040 (LED) 010 (パイク)
数値バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

4.3. ビープの音量

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 0 0 9	無し	
 1 0 1 0 1 0	小	
 1 0 1 0 1 1	中	
 1 0 1 0 1 2	大	■

4.4. ロー・バッテリーアラーム機能

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 0 1 7	無し	
 1 0 1 0 1 8	DC2.6V 以下でアラーム	■

4.5. グットリートビープの音色

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 0 0 1	8KHz	
 1 0 1 0 0 2	4KHz	■
 1 0 1 0 0 3	2KHz	
 1 0 1 0 0 4	1KHz	

4.6. グッドリードビーフの長さ

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 0 0 5	短い	■
 1 0 1 0 0 6	普通	
 1 0 1 0 0 7	長い	
 1 0 1 0 0 8	最長	

4.7. ノーリード (NR)送信

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 2 6 6	無し	■
 1 0 0 2 6 7	有り	

4.8. オートパワーオフ

オートパワーオフで設定された時間、アイドルリッジ状態が続くと、リッジは自動的に電源を切します。但し、リッジが、下記の何れかの状態にある場合は、機能しません。

- 設定モードで動作している

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 0 0 0	オートパワーオフ 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は0~254です。例えば、15分に設定したい場合は、「設定開始」「オートパワーオフ」「1」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	10
数値バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

4.9. パワーセービングモード

設定された時間、アイドル状態が続くと、リダは自動的にパワーセービングモードに移行します。無効にしたい場合は、0を設定します。

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 0 2 1	<u>パワーセービングモード</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は0~254です。例えば、15分に設定したい場合は、「設定開始」「イミグタイムアウト」「1」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	2
数値バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

5. 読取動作に関するパラメータ

5.1. 読取モード

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 2 0 1	<u>コンティニアスモード</u> 常にスキャンを試みます。	
 1 0 0 2 0 6	<u>レーザモード</u> トリガボタンを押している間、スキャンを試みます。バーコードの読み取りに成功するか、トリガボタンを離すと、スキャンを終了します。設定された読取タイムアウトを経過した場合もスキャンを終了します。	■
 1 0 0 2 0 0	<u>オートモード</u> トリガボタンを一度押すと、スキャンを試みます。バーコードの読み取りに成功するか、設定された読取タイムアウトを経過するとスキャンを終了します。	
 1 0 0 2 0 2	<u>オートパワーオフモード</u> トリガボタンを一度押すと、スキャンを試みます。設定された読取タイムアウト内にバーコードの読み取りに成功しなければ、スキャンを終了します。バーコードの読み取りに成功すると、読取タイムアウトはリセットされ、再加算されます。	
 1 0 0 2 0 8	<u>イメージモード</u> トリガボタンを一度押すと、ビームを照射し、イメージモードに移行します。設定されたイメージタイムアウト内に再度トリガボタンを押すと、スキャンを試みます。バーコードの読み取りに成功するか、設定された読取タイムアウトを経過するとスキャンを終了します。このモードは、ビームで目的のバーコードを確実に狙った後、スキャンを行いたい場合に使用します。	
 1 0 0 2 0 9	<u>マルチバーコードモード</u> トリガボタンを押している間、読取タイムアウトに関係無くスキャンを試みます。このモードは、一度に複数のバーコードをスキャンしたい場合に使用します。	
 1 0 0 2 0 7	<u>テストモード</u> テスト用途でのみ使用するモードです。	

5.2. 読取タイムアウト

このパラメータは、次の読取モードで有効です。

- レーザモード
- オートオフモード
- オートパワーオフモード
- イミグモード

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 2 3 5	読取タイムアウト 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。 設定範囲は 0~255 です。例えば、15 秒に設定したい場合は、「設定開始」「読取タイムアウト」「1」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	10
数値バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

5.3. イミグ タイムアウト

このパラメータは、次の読取モードで有効です。

➤ イミグ モード

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンド バージョ	説明	デフォルト
 1 0 0 2 2 6	イミグ タイムアウト 左のコマンド バージョ をスキャンした後、続けて下記の数値 バージョ で 2 桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了 バージョ をスキャンします。 設定範囲は 0~15 です。例えば、15 秒に設定したい場合は、「設定開始」「イミグ タイムアウト」「1」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	1
数値 バージョ		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

5.4. デコード delay

このパラメータは、次の読取モードに有効です。

- コンティニアスモード
- オートパワーオフモード

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 2 2 7	無し	
 1 0 0 2 2 8	0.5 秒	■
 1 0 0 2 2 9	1 秒	
 1 0 0 2 3 0	2 秒	

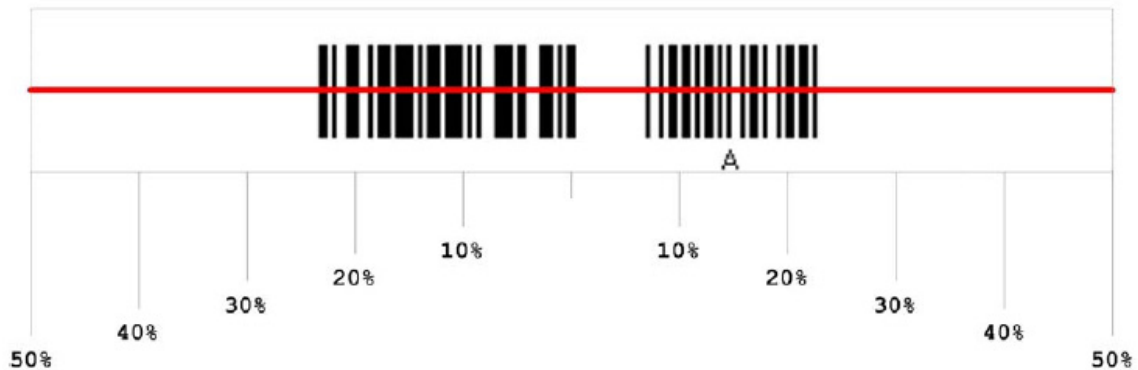
5.5. 同一コード読取 delay

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 2 1 6	100 ミリ秒	
 1 0 0 2 1 7	200 ミリ秒	
 1 0 0 2 1 8	400 ミリ秒	■
 1 0 0 2 1 9	800 ミリ秒	
 1 0 0 2 2 0	1 秒	
 1 0 0 2 2 1	2 秒	
 1 0 0 2 2 2	3 秒	
 1 0 0 2 2 3	5 秒	

5.6. 読取エリア

読取エリア指定を有りに設定し、左右のエリアをパーセンテージで指定することで読取エリアを限定することができます。例えば、下記のように2つのバーコードがビーム上にある場合でも、左10%、右30%を指定すれば、右のバーコードAだけを確実に読み取ることが可能になります。



設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 2 7 8	読取エリア指定 無し	■
 1 0 0 2 7 9	読取エリア指定 有り	
 1 0 0 2 8 0	読取エリア 左 50%	■
 1 0 0 2 8 1	読取エリア 左 40%	
 1 0 0 2 8 2	読取エリア 左 30%	
 1 0 0 2 8 3	読取エリア 左 20%	
 1 0 0 2 8 4	読取エリア 左 10%	
 1 0 0 2 8 8	読取エリア 右 10%	
 1 0 0 2 8 9	読取エリア 右 20%	
 1 0 0 2 9 0	読取エリア 右 30%	
 1 0 0 2 9 1	読取エリア 右 40%	
 1 0 0 2 9 2	読取エリア 右 50%	■

5.7. 初 (反転)バーコード

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 2 2 4	読み取り 無し	■
 1 0 0 2 2 5	読み取り 有り	

5.8. 読取照合回数(全バーコードシンボル対象)

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 2 6 2	無し	■
 1 0 0 2 6 3	1 回	
 1 0 0 2 6 4	2 回	
 1 0 0 2 6 5	3 回	

5.9. プログラム読取照合回数

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバースコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 8 0	プログラム読取照合回数 左のコマンドバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで2桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バースコードをスキャンします。設定範囲は0~30です。例えば、10回に設定したい場合は、「設定開始」「プログラム読取照合回数」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
数値バースコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

5.10. リーダの動作に関する設定

5.10.1. へーじャべーづ 間隔

へーじャべーづ を鳴動する間隔を設定します。へーじャべーづ は、下記の条件で鳴動します。

Bluetooth HID 接続

リーダ がパワーセーヴィングモードで動作中に、PC 側で「Scroll Lock」, 「Num Lock」, 「Caps Lock」が押されると、へーじャべーづ (びびり) を設定された間隔で鳴動します。へーじャべーづ は、電源ボタン/トリガボタンが押されるか、パワーセーヴィングモードで設定された時間が経過する迄、鳴動し続けます。

Bluetooth SPP 接続

リーダ がパワーセーヴィングモードで動作中に、SPP ポートで何らかの信号を受信すると、へーじャべーづ (びびり) を設定された間隔で鳴動します。へーじャべーづ は、電源ボタン/トリガボタンが押されるか、パワーセーヴィングモードで設定された時間が経過する迄、鳴動し続けます。

へーじャべーづ 鳴動を無効にしたい場合は、0 に設定します。

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 0 2 5	へーじャべーづ 間隔 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。 設定範囲は 0~15 です。例えば、15 秒に設定したい場合は、「設定開始」「へーじャべーづ 間隔」「1」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	5
数値バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

5.11. タイムスタンプに関する設定

5.11.1. タイムスタンプ 付加位置

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 3 1 5	無し	■
 1 0 1 3 1 6	データの前	
 1 0 1 3 1 7	データの後	

5.11.2. 日付/時刻出力指定

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 3 2 2	年 (YY/YYYY) 出力 無し	
 1 0 1 3 2 1	年 (YY/YYYY) 出力 有り	■
 1 0 1 3 2 4	月 (MM) 出力 無し	
 1 0 1 3 2 3	月 (MM) 出力 有り	■
 1 0 1 3 2 6	日 (DD) 出力 無し	
 1 0 1 3 2 5	日 (DD) 出力 有り	■
 1 0 1 3 2 8	時 (hh) 出力 無し	
 1 0 1 3 2 7	時 (hh) 出力 有り	■
 1 0 1 3 3 0	分 (mm) 出力 無し	
 1 0 1 3 2 9	分 (mm) 出力 有り	■
 1 0 1 3 3 2	秒 (ss) 出力 無し	
 1 0 1 3 3 1	秒 (ss) 出力 有り	■

5.11.3. 年号フォーマット

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 3 1 3	西暦 4 桁 (YYYY) フォーマット	■
 1 0 1 3 1 4	西暦 2 桁 (YY) フォーマット	

5.11.4. 日付フォーマット

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 3 1 8	年/月/日	■
 1 0 1 3 1 9	月/日/年	
 1 0 1 3 2 0	日/月/年	

5.11.5. 日付/時刻フォーマット

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 3 1 0	<u>日付/時刻/データフォーマット</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コードを 1 文字分 (2 桁) スキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。例えば、- (2Dhex) と設定したい場合は、「設定開始」「日付/時刻/データフォーマット」「2」「D」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。何も設定したくない場合は、「設定開始」「日付/時刻/データフォーマット」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。 例) 日付/時刻/データフォーマット*、読取データ ABCD の場合 YYYY/MM/DD*hh:mm:ss*ABCD	2D (-)

 1 0 1 3 1 1	年/月/日ハレタ 左の16進数バ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードを1文字分(2桁)スキャンし、最後に設定終了バ-コードをスキャンします。例えば、/(2Fhex)と設定したい場合は、「設定開始」「年/月/日ハレタ」「2」「F」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。何も設定したくない場合は、「設定開始」「年/月/日ハレタ」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。 例) 年/月/日ハレタ*の場合 YYYY*MM*DD	2F (/)
 1 0 1 3 1 2	年/月/日ハレタ 左の16進数バ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードを1文字分(2桁)スキャンし、最後に設定終了バ-コードをスキャンします。例えば、:(3Ahex)と設定したい場合は、「設定開始」「時/分/秒ハレタ」「3」「A」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。何も設定したくない場合は、「設定開始」「時/分/秒ハレタ」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。 例) 時/分/秒ハレタ*の場合 hh*mm*ss	3A (:)
16進数バ-コード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
A  1 0 9 9 1 0	B  1 0 9 9 1 1	
C  1 0 9 9 1 2	D  1 0 9 9 1 3	
E  1 0 9 9 1 4	F  1 0 9 9 1 5	
確定  1 0 9 9 9 4		

5.11.6. 日付/時刻の設定

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
年の設定  1 0 9 9 7 0 日付の設定  1 0 9 9 7 0 時刻の設定  1 0 9 9 7 0	日付/時刻の設定 左の何れかのコマンドバーコードをスキャンした後、続けて設定値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。 年の設定例) 2012 年に設定する場合 「設定開始」「年の設定」「2」「0」「1」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。 日付の設定例) 11 月 20 日に設定する場合 「設定開始」「日付の設定」「1」「1」「2」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。 時刻の設定例) 18 時 59 分に設定する場合 「設定開始」「時刻の設定」「1」「8」「5」「9」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	
数値バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

6. インターフェイスに関するパラメータ

6.1. HID インターフェイス

6.1.1. キーボードタイプ

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
USB 有線 HID  1 0 0 0 0 9 Bluetooth HID  1 0 0 0 0 6	<u>HID インターフェイス</u> 左の何れかのコマンドバーコードをスキャンした後、続けて 2 桁のキーボードタイプ番号をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。キーボードタイプ番号は下記の表を参照ください。例えば、日本語 USB キーボードに設定する場合は、「設定開始」「キーボードインターフェイス」「7」「4」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	64
数値バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

キーボードタイプ番号表			
NO	キーボードタイプ	NO	キーボードタイプ
64	PC-AT (US)	74	PS55 A01-2 (日本語キーボード)
65	PC-AT (French)	75	-
66	PC-AT (German)	76	PC-AT (Turkish)
67	PC-AT (Italy)		
68	PC-AT (Swedish)		
69	PC-AT (Norwegian)		
70	PC-AT (UK)		
71	PC-AT (Belgium)		
72	PC-AT (Spanish)		
73	PC-AT (Portuguese)		

6.1.2. CAPS ロック

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 5 2	CAPS ロックオフ	■
 1 0 0 0 5 3	CAPS ロックオン	
 1 0 0 0 5 4	自動検出	

※ 自動検出は、一部のパソコンで正しく動作しない場合があります。

6.1.3. アルファベット送信

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 5 0	大文字・小文字を考慮	■
 1 0 0 0 5 1	CAPS ロック状態に従う	

6.1.4. 数字送信

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 4 0	フルキーボード	■
 1 0 0 0 4 1	テンキーボード	

6.1.5. ファンクション間送信デレイ

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 1 2	ファンクション間送信デレイ 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は0~254(設定値表を参照)です。例えば、10ミ秒に設定したい場合は、「設定開始」「ファンクション間送信デレイ」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
数値バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

※ ファンクション間送信デレイは、ファンクションコード (01hex~1Fhex) が送信された後に挿入されます。

6.1.6. HID 送信モード

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 6 4	バッチ送信	■
 1 0 0 0 6 5	キャラクタ送信	

※ PC 側でデータの桁落ちなどが発生する場合は、「キャラクタ送信」をお試しください。

6.2. バージナル COM/SPP インターフェイス

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 0 8	USB 仮想バーチャル COM インターフェイスを使用する	
 1 0 0 0 0 3	Bluetooth SPP スレーブ インターフェイスを使用する	
 1 0 0 0 0 7	Bluetooth SPP マスターインターフェイスを使用する	

6.2.1. ファクション間送信デレイ

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 1 2	ファクション間送信デレイ 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は 0~254 (設定値表を参照) です。例えば、10 ミリ秒に設定したい場合は、「設定開始」「ファクション間送信デレイ」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
数値バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

※ ファクション間送信デレイは、ファクションコード (01hex~1Fhex) が送信された後に挿入されます。

6.2.2. ACK/NAK タイムアウト

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 1 3	ACK/NAK タイムアウト 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は 0~99 (0.1 秒単位) です。例えば、1 秒に設定したい場合は、「設定開始」「ACK/NAK タイムアウト」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。 ACK/NAK 動作 リーダは、読取データ送信後、ここで設定された時間 ACK/NAK 応答を待ちます。何の応答も得られない場合、3 回迄読取データを再送し、全て失敗した場合は、その読取データを破棄します。	0
数値バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

6.2.3. ACK/NAK エラービート

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 1 4	無し	■
 1 0 0 0 1 5	有り	

7. バージョンシボルに関するパラメータ

7.1. コーダバー(NW7)

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 1 2	読み取り無し	
 1 0 0 3 1 3	読み取り有り	■
 1 0 0 4 3 6	スタート/ストップ キャラクタ abcd/abcd	■
 1 0 0 4 3 7	スタート/ストップ キャラクタ abcd/tn*e	
 1 0 0 4 3 8	スタート/ストップ キャラクタ ABCD/ABCD	
 1 0 0 4 3 9	スタート/ストップ キャラクタ ABCD/TN*E	
 1 0 0 4 4 0	スタート/ストップ キャラクタ送信無し	■
 1 0 0 4 4 1	スタート/ストップ キャラクタ送信有り	
 1 0 0 4 4 2	CLSI 変換無し	■
 1 0 0 4 4 3	CLSI 変換有り	

7.2. インダストリアル 2/5

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 0 6	読み取り無し	
 1 0 0 3 0 7	読み取り有り	■
 1 0 0 4 1 2	スタート/ストップパターン インダストリアル 2/5	■
 1 0 0 4 1 3	スタート/ストップパターン インターリーブド 2/5	
 1 0 0 4 1 4	スタート/ストップパターン マトリクス 2/5	
 1 0 0 4 2 4	チェックサム検査無し	■
 1 0 0 4 2 5	チェックサム検査有り	
 1 0 0 4 2 6	チェックサム送信無し	■
 1 0 0 4 2 7	チェックサム送信有り	
 1 0 0 6 0 1	最大/最小読取桁数検査	■
 1 0 0 6 0 0	固定読取桁数 1 / 固定読取桁数 2 検査	

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

マストバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 6 0 2	<u>最大読取桁数/固定読取桁数 1</u> 左のマストバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最大読取桁数/固定読取桁数 1」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	127
 1 0 0 6 0 3	<u>最小読取桁数/固定読取桁数 2</u> 左のマストバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最小読取桁数/固定読取桁数 2」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	4
数値バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

7.3. インターリーブド 2/5

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 0 8	読み取り無し	
 1 0 0 3 0 9	読み取り有り	■
 1 0 0 4 1 6	スタート/ストップパターン インターストリアル 2/5	
 1 0 0 4 1 7	スタート/ストップパターン インターリーブド 2/5	■
 1 0 0 4 1 8	スタート/ストップパターン マトリクス 2/5	
 1 0 0 4 2 8	チェックサム検査無し	■
 1 0 0 4 2 9	チェックサム検査有り	
 1 0 0 4 3 0	チェックサム送信無し	■
 1 0 0 4 3 1	チェックサム送信有り	
 1 0 0 6 0 5	最大/最小読取桁数検査	■
 1 0 0 6 0 4	固定読取桁数 1 / 固定読取桁数 2 検査	

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

マストバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 6 0 6	<u>最大読取桁数/固定読取桁数 1</u> 左のマストバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最大読取桁数/固定読取桁数 1」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	126
 1 0 0 6 0 7	<u>最小読取桁数/固定読取桁数 2</u> 左のマストバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最小読取桁数/固定読取桁数 2」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	4
数値バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

7.4. マトリクス 2/5

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

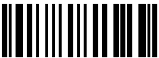
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 1 0	読み取り無し	■
 1 0 0 3 1 1	読み取り有り	
 1 0 0 4 2 0	スタート/ストップパターン インターストリアル 2/5	
 1 0 0 4 2 1	スタート/ストップパターン インターリーブド 2/5	
 1 0 0 4 2 2	スタート/ストップパターン マトリクス 2/5	■
 1 0 0 4 3 2	チェックサム検査無し	■
 1 0 0 4 3 3	チェックサム検査有り	
 1 0 0 4 3 4	チェックサム送信無し	0 ■
 1 0 0 4 3 5	チェックサム送信有り	
 1 0 0 6 0 9	最大/最小読取桁数検査	■
 1 0 0 6 0 8	固定読取桁数 1 / 固定読取桁数 2 検査	

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

マストバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 6 1 0	<u>最大読取桁数/固定読取桁数 1</u> 左のマストバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最大読取桁数/固定読取桁数 1」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	127
 1 0 0 6 1 1	<u>最小読取桁数/固定読取桁数 2</u> 左のマストバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最小読取桁数/固定読取桁数 2」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	4
数値バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

7.5. コード 39

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 0 0	読み取り無し	
 1 0 0 3 0 1	読み取り有り	■
 1 0 0 4 0 2	スタート/ストップキャラクタ 送信無し	■
 1 0 0 4 0 3	スタート/ストップキャラクタ 送信有り	
 1 0 0 4 0 4	チェックビット検査無し	
 1 0 0 4 0 5	チェックビット検査有り	
 1 0 0 4 0 6	チェックビット送信無し	
 1 0 0 4 0 7	チェックビット送信有り	■
 1 0 0 4 0 0	フルアスキー読み取り無し	■
 1 0 0 4 0 1	フルアスキー読み取り有り	

7.6. コード 93

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 1 4	読み取り無し	
 1 0 0 3 1 5	読み取り有り	■

7.7. コード 128

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 1 6	読み取り無し	
 1 0 0 3 1 7	読み取り有り	■

7.8. ISBT-128

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 5 4	読み取り無し	■
 1 0 0 3 5 5	読み取り有り	

7.9. EAN-128(GS1-128)

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 1 8	読み取り無し	■
 1 0 0 3 1 9	読み取り有り	
 1 0 0 5 1 8	コード ID “J C1” 送信無し	■
 1 0 0 5 1 9	コード ID “J C1” 送信有り	
 1 0 0 6 1 6	<u>GS (FNC1) 置換キャラクタ</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コードをスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。例えば、@ (40hex) に設定したい場合は、「設定開始」「GS (FNC1) 置換キャラクタ」「4」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	00
16 進数バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
A  1 0 9 9 1 0	B  1 0 9 9 1 1	
C  1 0 9 9 1 2	D  1 0 9 9 1 3	
E  1 0 9 9 1 4	F  1 0 9 9 1 5	
確定  1 0 9 9 9 4		

7.10. EAN-8(JAN-8)

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

マントバコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 2 6	読み取り無し	
 1 0 0 3 2 7	読み取り有り	■
 1 0 0 3 2 8	アドオン2 読み取り無し	■
 1 0 0 3 2 9	アドオン2 読み取り有り	
 1 0 0 3 3 0	アドオン5 読み取り無し	■
 1 0 0 3 3 1	アドオン5 読み取り有り	
 1 0 0 4 6 0	EAN-13 変換無し	■
 1 0 0 4 6 1	EAN-13 変換有り	
 1 0 0 4 7 0	チェックビット送信無し	
 1 0 0 4 7 1	チェックビット送信有り	■

7.11. EAN-13(JAN-13)

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 3 2	読み取り無し	
 1 0 0 3 3 3	読み取り有り	■
 1 0 0 3 3 4	アドオン2 読み取り無し	■
 1 0 0 3 3 5	アドオン2 読み取り有り	
 1 0 0 3 3 6	アドオン5 読み取り無し	■
 1 0 0 3 3 7	アドオン5 読み取り有り	
 1 0 0 4 6 2	ISBN 変換無し	■
 1 0 0 4 6 3	ISBN 変換有り	
 1 0 0 4 6 4	ISSN 変換無し	■
 1 0 0 4 6 5	ISSN 変換有り	
 1 0 0 4 7 2	チェックシート送信無し	
 1 0 0 4 7 3	チェックシート送信有り	■

7.12. UPC-A

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

マントバコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 3 8	読み取り無し	
 1 0 0 3 3 9	読み取り有り	■
 1 0 0 3 4 0	アドオン2 読み取り無し	■
 1 0 0 3 4 1	アドオン2 読み取り有り	
 1 0 0 3 4 2	アドオン5 読み取り無し	■
 1 0 0 3 4 3	アドオン5 読み取り有り	
 1 0 0 4 5 8	EAN-13 変換無し	■
 1 0 0 4 5 9	EAN-13 変換有り	
 1 0 0 4 7 6	システムバース送信無し	
 1 0 0 4 7 7	システムバース送信有り	■
 1 0 0 4 6 8	チェックゾット送信無し	
 1 0 0 4 6 9	チェックゾット送信有り	■

7.13. UPC-E

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 2 0	読み取り無し	
 1 0 0 3 2 1	読み取り有り	■
 1 0 0 3 2 2	アドオン2 読み取り無し	■
 1 0 0 3 2 3	アドオン2 読み取り有り	
 1 0 0 3 2 4	アドオン5 読み取り無し	■
 1 0 0 3 2 5	アドオン5 読み取り有り	
 1 0 0 4 7 8	UPC-E0 (システムバーコード - 0) & E1 (システムバーコード - 1) 両方を読み取り	
 1 0 0 4 7 9	UPC-E0 (システムバーコード - 0) のみ読み取り有り	■
 1 0 0 4 5 6	UPC-A 変換無し	■
 1 0 0 4 5 7	UPC-A 変換有り	
 1 0 0 4 7 4	システムバーコード送信無し	
 1 0 0 4 7 5	システムバーコード送信有り	■
 1 0 0 4 6 6	チェックディジット送信無し	
 1 0 0 4 6 7	チェックディジット送信有り	■

7.14. フレンチファーマコード & イタリアンファーマコード

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 0 4	フレンチファーマコード 読み取り無し	■
 1 0 0 3 0 5	フレンチファーマコード 読み取り有り	
 1 0 0 4 1 0	フレンチファーマコード チェックデジット送信無し	
 1 0 0 4 1 1	フレンチファーマコード チェックデジット送信有り	■
 1 0 0 3 0 2	イタリアンファーマコード 読み取り無し	■
 1 0 0 3 0 3	イタリアンファーマコード 読み取り有り	
 1 0 0 4 0 8	イタリアンファーマコード チェックデジット送信無し	
 1 0 0 4 0 9	イタリアンファーマコード チェックデジット送信有り	■

7.15. PLESSEY

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 4 6	読み取り無し	■
 1 0 0 3 4 7	読み取り有り	
 1 0 0 4 4 6	UK PLESSEY 変換無し	■
 1 0 0 4 4 7	UK PLESSEY 変換有り	
 1 0 0 4 4 4	チェックデジット送信無し	
 1 0 0 4 4 5	チェックデジット送信有り	■

7.16. MSI

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 4 4	読み取り無し	■
 1 0 0 3 4 5	読み取り有り	
 1 0 0 4 4 8	チェックシートタイプ シングル-枚 10 10	
 1 0 0 4 4 9	チェックシートタイプ ダブル-枚 10 10	
 1 0 0 4 5 0	チェックシートタイプ 枚 10 10 & 11	■
 1 0 0 4 5 2	チェックシート送信 (最後 1 桁) 無し	■
 1 0 0 4 5 3	チェックシート送信 (2 桁両方) 有り	
 1 0 0 4 5 4	チェックシート送信 (2 桁両方) 無し	
 1 0 0 6 1 3	最大/最小読取桁数検査	■
 1 0 0 6 1 2	固定読取桁数 1/固定読取桁数 2 検査	

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

マストバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 6 1 4	<u>最大読取桁数/固定読取桁数 1</u> 左のマストバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最大読取桁数/固定読取桁数 1」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	127
 1 0 0 6 1 5	<u>最小読取桁数/固定読取桁数 2</u> 左のマストバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最小読取桁数/固定読取桁数 2」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	4
数値バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

7.17. RSS(GS1 Databar)

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 5 1 7	RSS コード ID “jC1” を使用	
 1 0 0 5 1 6	RSS コード ID “je0” を使用	■

7.17.1. RSS-14(GS1 Databar-14)

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 4 8	読み取り無し	■
 1 0 0 3 4 9	読み取り有り	
 1 0 0 5 2 2	RSS-14 コード ID 送信無し	
 1 0 0 5 2 3	RSS-14 コード ID 送信有り	■
 1 0 0 5 2 8	RSS-14 アプリケーション ID “010” 送信無し	
 1 0 0 5 2 9	RSS-14 アプリケーション ID “010” 送信有り	■
 1 0 0 4 8 0	チェックビット送信無し	
 1 0 0 4 8 1	チェックビット送信有り	■

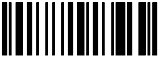
7.17.2. RSS-Expanded(GS1 Databar-Expanded)

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 4 8	読み取り無し	■
 1 0 0 3 4 9	読み取り有り	
 1 0 0 5 2 6	RSS-Expanded コード ID 送信無し	
 1 0 0 5 2 7	RSS-Expanded コード ID 送信有り	■

7.17.3. RSS-Limited(GS1 Databar-Limited)

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 5 0	読み取り無し	■
 1 0 0 3 5 1	読み取り有り	
 1 0 0 5 2 4	RSS-Limited コード ID 送信無し	
 1 0 0 5 2 5	RSS-Limited コード ID 送信有り	■
 1 0 0 5 3 0	RSS-Limited 7桁リレー ID "010" 送信無し	
 1 0 0 5 3 1	RSS-Limited 7桁リレー ID "010" 送信有り	■
 1 0 0 4 8 2	チェックビット送信無し	
 1 0 0 4 8 3	チェックビット送信有り	■

7.18. Telepen

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 5 3 2	読み取り無し	■
 1 0 0 5 3 3	読み取り有り	
 1 0 0 4 8 4	オプショナル Telepen	
 1 0 0 4 8 5	AIM (フルアスキー) Telepen	■

8. データフォーマットに関する設定

読取データは、下記の基本データフォーマットに従って、送信されます。

基本データフォーマット				
プリフィックス	コード ID	読取データ桁数	読取データ	サフィックス

プリフィックス

無し又は任意に 4 文字までを設定できます。

コード ID

無し、任意のキャラクタ又はコード ID セット 1~5 の何れかを送信することができます。

読取データ桁数

読取データ桁数送信を有りに設定した場合、常に 2 バイト長でバーコード桁数が送信されます。

Ex.1) バーコード が 8 桁の場合 08

Ex.2) バーコード が 40 桁の場合 40

読取データ

読取データが送信されます。また、データ編集機能を使うことで、読取データを任意に編集することも可能です。

サフィックス

無し又は任意に 4 文字までを設定できます。

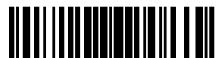
8.1. 大文字・小文字変換送信

設定開始	設定キャンセル	設定終了
 8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	 1 0 9 9 9 8	 1 0 9 9 9 9

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 2 0 2	そのまま送信 (変換無し)	■
 1 0 1 2 0 3	全て大文字送信 (大文字変換)	
 1 0 1 2 0 4	全て小文字送信 (小文字変換)	■

8.2. キャラクタ置換

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 1 2 3 2	<u>キャラクタ置換セット1</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードを1~2キャラクタ分スキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。例えば、@ (40hex) を A (40hex) に置換したい場合は、「設定開始」「キャラクタ置換セット1」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。 また、指定キャラクタを除去することも可能で、例えば、@ (40hex) を除去したい場合は、「設定開始」「キャラクタ置換セット1」「4」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	
 1 0 0 1 2 3 3	<u>キャラクタ置換セット2</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードを1~2キャラクタ分スキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定例は、キャラクタ置換セット1を参照ください。	
 1 0 0 1 2 3 4	<u>キャラクタ置換セット3</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードを1~2キャラクタ分スキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定例は、キャラクタ置換セット1を参照ください。	
16進数バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
A  1 0 9 9 1 0	B  1 0 9 9 1 1	
C  1 0 9 9 1 2	D  1 0 9 9 1 3	
E  1 0 9 9 1 4	F  1 0 9 9 1 5	
確定  1 0 9 9 9 4		

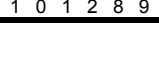
- ※ キャラクタ置換は、データデット前の読取データに対してのみ適用されます。
- ※ キャラクタ置換は、3組まで定義でき、この機能を使用して、指定キャラクタを除去することも可能です。

8.2.1. キャラクタ置換適用バーコードシンボル

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コードバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 2 5 2	コードバー (NW7) に適用しない	
 1 0 1 2 5 3	コードバー (NW7) に適用する	■
 1 0 1 2 4 0	コード 39 に適用しない	
 1 0 1 2 4 1	コード 39 に適用する	■
 1 0 1 2 5 4	コード 93 に適用しない	
 1 0 1 2 5 5	コード 93 に適用する	■
 1 0 1 2 5 6	コード 128 に適用しない	
 1 0 1 2 5 7	コード 128 に適用する	■
 1 0 1 2 5 8	EAN-128 (GS1-128) に適用しない	
 1 0 1 2 5 9	EAN-128 (GS1-128) に適用する	■
 1 0 1 2 6 6	EAN-8 (JAN-8) に適用しない	
 1 0 1 2 6 7	EAN-8 (JAN-8) に適用する	■
 1 0 1 2 6 8	EAN-8 (JAN-8) アドカ 2 に適用しない	
 1 0 1 2 6 9	EAN-8 (JAN-8) アドカ 2 に適用する	■
 1 0 1 2 7 0	EAN-8 (JAN-8) アドカ 5 に適用しない	
 1 0 1 2 7 1	EAN-8 (JAN-8) アドカ 5 に適用する	■
 1 0 1 2 7 2	EAN-13 (JAN-13) に適用しない	
 1 0 1 2 7 3	EAN-13 (JAN-13) に適用する	■
 1 0 1 2 7 4	EAN-13 (JAN-13) アドカ 2 に適用しない	
 1 0 1 2 7 5	EAN-13 (JAN-13) アドカ 2 に適用する	■

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コードバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 2 7 6	EAN-13 (JAN-13) アドカシ 5 に適用しない	
 1 0 1 2 7 7	EAN-13 (JAN-13) アドカシ 5 に適用する	■
 1 0 1 2 4 4	フルチャージコード に適用しない	
 1 0 1 2 4 5	フルチャージコード に適用する	■
 1 0 1 2 4 2	イタリアンコード に適用しない	
 1 0 1 2 4 3	イタリアンコード に適用する	■
 1 0 1 2 4 6	インダストリアル 2/5 に適用しない	
 1 0 1 2 4 7	インダストリアル 2/5 に適用する	■
 1 0 1 2 4 8	インターリーブド 2/5 に適用しない	
 1 0 1 2 4 9	インターリーブド 2/5 に適用する	■
 1 0 1 2 5 0	マトリクス 2/5 に適用しない	
 1 0 1 2 5 1	マトリクス 2/5 に適用する	■
 1 0 1 2 8 4	MSI に適用しない	
 1 0 1 2 8 5	MSI に適用する	■
 1 0 1 2 8 6	PLESSEY に適用しない	
 1 0 1 2 8 7	PLESSEY に適用する	■
 1 0 1 2 9 0	RSS (GS1 Databar) に適用しない	
 1 0 1 2 9 1	RSS (GS1 Databar) に適用する	■
 1 0 1 2 8 8	Telepen に適用しない	
 1 0 1 2 8 9	Telepen に適用する	■

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

マストバースコード	説明	デフォルト
 1 0 1 2 7 8	UPC-A に適用しない	
 1 0 1 2 7 9	UPC-A に適用する	■
 1 0 1 2 8 0	UPC-A 外 2 に適用しない	
 1 0 1 2 8 1	UPC-A 外 2 に適用する	■
 1 0 1 2 8 2	UPC-A 外 5 に適用しない	
 1 0 1 2 8 3	UPC-A 外 5 に適用する	■
 1 0 1 2 6 0	UPC-E に適用しない	
 1 0 1 2 6 1	UPC-E に適用する	■
 1 0 1 2 6 2	UPC-E 外 2 に適用しない	
 1 0 1 2 6 3	UPC-E 外 2 に適用する	■
 1 0 1 2 6 4	UPC-E 外 5 に適用しない	
 1 0 1 2 6 5	UPC-E 外 5 に適用しない	■

8.3. プリフィックス/サフィックス

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 2 3 0	<u>プリフィックス</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードを最大8キャラクタ分スキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。例えば、12 (31hex, 32hex) と設定したい場合は、「設定開始」「プリフィックス」「3」「0」「3」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。何も設定したくない場合は、「設定開始」「プリフィックス」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	
 1 0 1 2 3 1	<u>サフィックス</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードを最大8キャラクタ分スキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。例えば、12 (31hex, 32hex) と設定したい場合は、「設定開始」「サフィックス」「3」「0」「3」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。何も設定したくない場合は、「設定開始」「サフィックス」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	
16 進数バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
A  1 0 9 9 1 0	B  1 0 9 9 1 1	
C  1 0 9 9 1 2	D  1 0 9 9 1 3	
E  1 0 9 9 1 4	F  1 0 9 9 1 5	
確定  1 0 9 9 9 4		

- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード 表」を使って、SHIFT, CTRL, ALT キーのコンビネーション (SHIFT+n, CTRL+n, ALT+n) を定義することができます。SHIFT, CTRL, ALT キーは、1キャラクタとして、加わります。
- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード 表」を使って、スキャンコードを最大4スキャンコードまで定義することができます。スキャンコードコードは特殊なコードのため、通常は使用しないでください。使用方法については、弊社までご相談ください。

8.4. コード ID

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コードバースコード	説明	デフォルト
 1 0 9 9 6 1	コード ID セット 1 を使用	
 1 0 9 9 6 2	コード ID セット 2 を使用	
 1 0 9 9 6 3	コード ID セット 3 を使用	
 1 0 9 9 6 4	コード ID セット 4 を使用	
 1 0 9 9 6 5	コード ID セット 5 を使用	

バースコードシンボル	コード ID セット 1	コード ID セット 2	コード ID セット 3	コード ID セット 4	コード ID セット 5
コード 39	A	C	Y	M	A
イタリアンファーマコード	A	C	Y	M	A
フランスファーマコード	A	C	Y	M	A
インターストリアル 2/5	C	H	H	H	S
インターリーブド 2/5	D	I	Z	I	S
マトリクス 2/5	E	G	G	G	S
コードバース (NW7)	F	N	X	N	F
コード 93	I	L	L	L	G
コード 128	H	K	K	K	C
UPC-E	S	E	C	E	E
EAN-8 (JAN-8)	P	B	B	FF	E
EAN-13 (JAN-13)	M	A	A	F	E
UCP-A	J	A	A	A	E
MSI	V	V	D	P	M
PLESSEY	W	W	E	Q	P
Telepen	Z	---	---	---	---

8.4.1. ユーザーコード ID

ユーザーコード ID を定義したいバーコードシボタイプをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コードを最大 2 文字分スキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。例えば、12 (31hex, 32hex) と設定したい場合は、「設定開始」「定義したいバーコードシボタイプ」「3」「0」「3」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0		設定キャンセル  1 0 9 9 9 8		設定終了  1 0 9 9 9 9	
バーコード シボタイプ					
コード A - (NW7)  1 0 1 4 5 6			コード 39  1 0 1 4 5 0		
コード 93  1 0 1 4 5 7			コード 128  1 0 1 4 5 8		
EAN-8 (JAN-8)  1 0 1 4 6 0			EAN-13 (JAN-13)  1 0 1 4 6 1		
16 進数バーコード					
0  1 0 9 9 0 0			1  1 0 9 9 0 1		
2  1 0 9 9 0 2			3  1 0 9 9 0 3		
4  1 0 9 9 0 4			5  1 0 9 9 0 5		
6  1 0 9 9 0 6			7  1 0 9 9 0 7		
8  1 0 9 9 0 8			9  1 0 9 9 0 9		
A  1 0 9 9 1 0			B  1 0 9 9 1 1		
C  1 0 9 9 1 2			D  1 0 9 9 1 3		
E  1 0 9 9 1 4			F  1 0 9 9 1 5		
確定  1 0 9 9 9 4					

- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊バーコード表」を使って、SHIFT, CTRL, ALT キーのコンビネーション (SHIFT+n, CTRL+n, ALT+n) を定義することができます。SHIFT, CTRL, ALT キーは、1 文字として、加わります。
- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊バーコード表」を使って、スキャンコードを最大 4 スキャンコードまで定義することができます。スキャンコードは特殊なコードのため、通常は使用しないでください。使用方法については、弊社までご相談ください。

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

バーコード シンボルタイプ	
フレッチファーマコード  1 0 1 4 5 2	イタリアンファーマコード  1 0 1 4 5 1
インダストリアル 2/5  1 0 1 4 5 3	インターリーブド 2/5  1 0 1 4 5 4
マトリクス 2/5  1 0 1 4 5 5	MSI  1 0 1 4 6 3
PLESSEY  1 0 1 4 6 4	Telepen  1 0 1 4 6 5
16 進数バーコード	
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9
A  1 0 9 9 1 0	B  1 0 9 9 1 1
C  1 0 9 9 1 2	D  1 0 9 9 1 3
E  1 0 9 9 1 4	F  1 0 9 9 1 5
確定  1 0 9 9 9 4	

- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード 表」を使って、SHIFT, CTRL, ALT キーのシフトネーション (SHIFT+n, CTRL+n, ALT+n) を定義することができます。SHIFT, CTRL, ALT キーは、1 キヤクタとして、加わります。
- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード 表」を使って、シフトコードを最大 4 シフトコードまで定義することができます。シフトコードコードは特殊なコードのため、通常は使用しないでください。使用方法については、弊社までご相談ください。

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

16 進数バーコード	
UPC-A  1 0 1 4 6 2	UPC-E  1 0 1 4 5 9
全コード ID 設定クリア  1 0 9 9 6 0	
16 進数バーコード	
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9
A  1 0 9 9 1 0	B  1 0 9 9 1 1
C  1 0 9 9 1 2	D  1 0 9 9 1 3
E  1 0 9 9 1 4	F  1 0 9 9 1 5
確定  1 0 9 9 9 4	

- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード 表」を使って、SHIFT, CTRL, ALT キーのコンビネーション (SHIFT+n, CTRL+n, ALT+n) を定義することができます。SHIFT, CTRL, ALT キーは、1 キヤクタとして、加わされます。
- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード 表」を使って、スキャンコードを最大 4 スキャンコードまで定義することができます。スキャンコードコードは特殊なコードのため、通常は使用しないでください。使用方法については、弊社までご相談ください。

8.5. 読取データ桁数

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コードバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 4 1 2	コードバー (NW7) に適用しない	■
 1 0 1 4 1 3	コードバー (NW7) に適用する	
 1 0 1 4 0 0	コード 39 に適用しない	■
 1 0 1 4 0 1	コード 39 に適用する	
 1 0 1 4 1 4	コード 93 に適用しない	■
 1 0 1 4 1 5	コード 93 に適用する	
 1 0 1 4 1 6	コード 128 に適用しない	■
 1 0 1 4 1 7	コード 128 に適用する	
 1 0 1 4 1 8	EAN-128 (GS1-128) & RSS (GS1 Databar) に適用しない	■
 1 0 1 4 1 9	EAN-128 (GS1-128) & RSS (GS1 Databar) に適用する	
 1 0 1 4 2 2	EAN-8 (JAN-8) に適用しない	■
 1 0 1 4 2 3	EAN-8 (JAN-8) に適用する	
 1 0 1 4 2 4	EAN-13 (JAN-13) に適用しない	■
 1 0 1 4 2 5	EAN-13 (JAN-13) に適用する	
 1 0 1 4 0 4	フルチャームコード に適用しない	■
 1 0 1 4 0 5	フルチャームコード に適用する	
 1 0 1 4 0 2	イタリアンチャームコード に適用しない	■
 1 0 1 4 0 3	イタリアンチャームコード に適用する	
 1 0 1 4 0 6	インダストリアル 2/5 に適用しない	■
 1 0 1 4 0 7	インダストリアル 2/5 に適用する	

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

 1 0 1 4 0 8	インターブド 2/5 に適用しない	■
 1 0 1 4 0 9	インターブド 2/5 に適用する	
 1 0 1 4 1 0	マトリクス 2/5 に適用しない	■
 1 0 1 4 1 1	マトリクス 2/5 に適用する	
 1 0 1 4 2 8	MSI に適用しない	■
 1 0 1 4 2 9	MSI に適用する	
 1 0 1 4 3 0	PLESSEY に適用しない	■
 1 0 1 4 3 1	PLESSEY に適用する	
 1 0 1 4 3 2	Telepen に適用しない	■
 1 0 1 4 3 3	Telepen に適用する	
 1 0 1 4 2 6	UPC-A に適用しない	■
 1 0 1 4 2 7	UPC-A に適用する	
 1 0 1 4 2 0	UPC-E に適用しない	■
 1 0 1 4 2 1	UPC-E に適用する	

8.6. マルチバ-コード データ

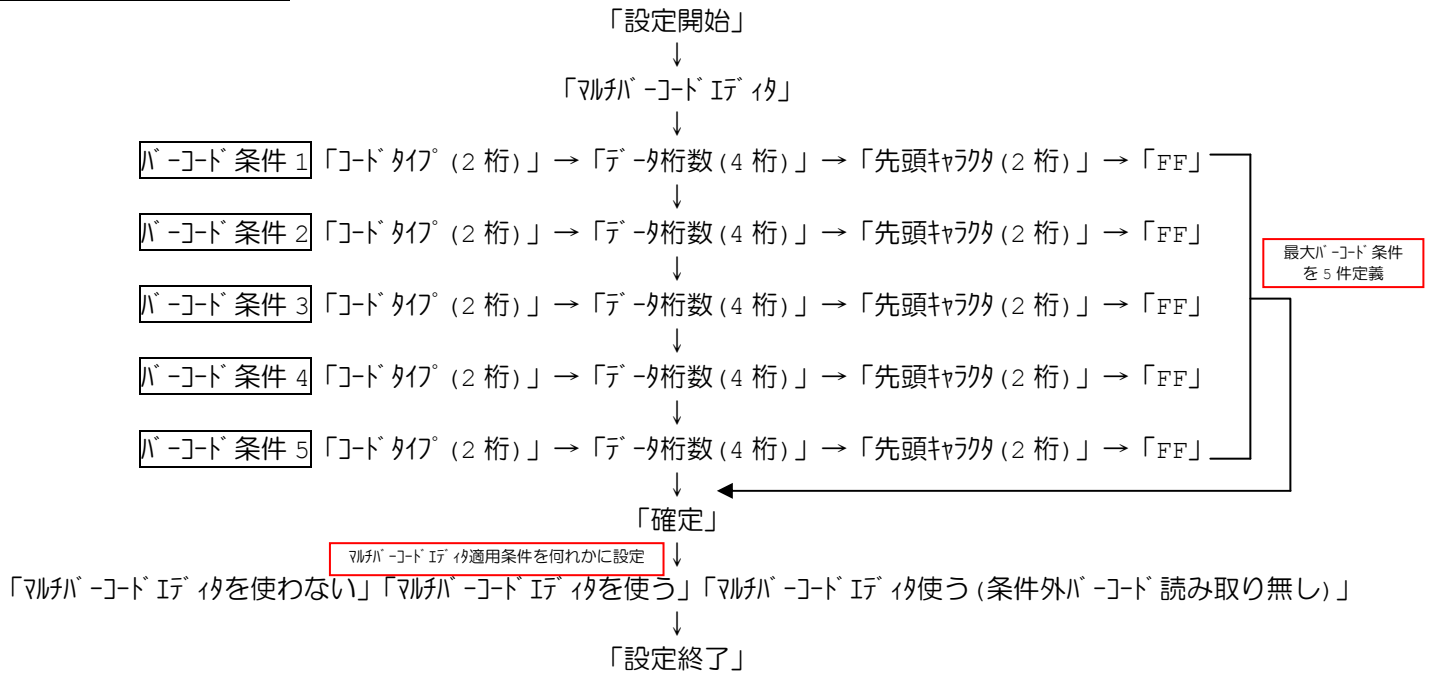
マルチバ-コード データオプションを使うと、条件に合った最大 5 つまでのバ-コード シンボルをスキャンし、それらを定義された順番通りに連結して、1 つの読取データとして、送信することができます。

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンド バ-コード	説明	デフォルト
 1 0 0 6 5 0	マルチバ-コード データ 次頁のマルチバ-コード データ設定用-を参照ください。	
マルチバ-コード データ適用条件		
マルチバ-コード データを使わない  1 0 0 6 1 7	マルチバ-コード データを使う  1 0 0 6 1 8	マルチバ-コード データ使う (条件外バ-コード 読み取り無し)  1 0 0 6 1 9
16 進数バ-コード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
A  1 0 9 9 1 0	B  1 0 9 9 1 1	
C  1 0 9 9 1 2	D  1 0 9 9 1 3	
E  1 0 9 9 1 4	F  1 0 9 9 1 5	
確定  1 0 9 9 9 4		

※ マルチバ-コード データオプションは、マルチバ-コード モード (読取モード) には対応しません。

マルチコード設定フロー



「コードタイプ (2桁)」

下記のコードタイプ表で目的のマルチコードシンボルに対応する16進数値を調べ、16進数マルチコードで入力します。

「データ桁数 (4桁)」

対象とするデータ桁数を0000~0128の範囲で入力します。0000は全てのデータ桁数が対象となります。

「先頭キャラクタ (2桁)」

対象とする先頭キャラクタのASCIIコード2桁を16進数マルチコードで入力します。00は全ての先頭キャラクタが対象となります。

「FF」

各マルチコード条件の設定区切りを意味するFFを入力します。

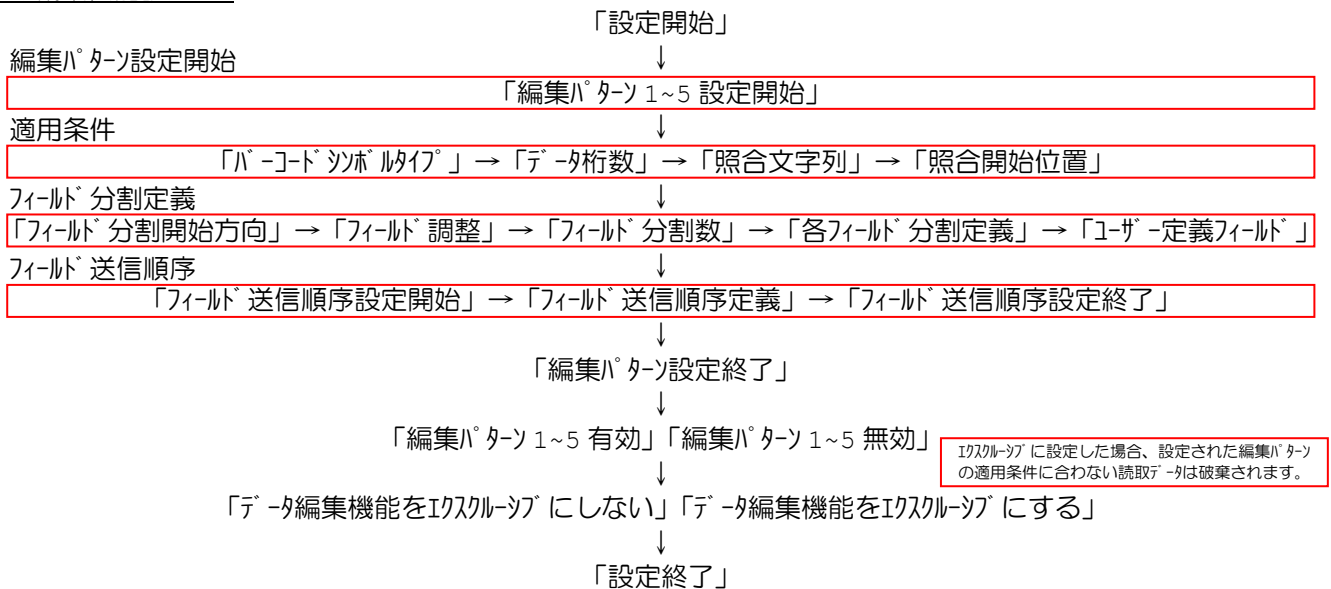
コードタイプ表					
コードタイプ	マルチコードシンボル	コードタイプ	マルチコードシンボル	コードタイプ	マルチコードシンボル
41 (A)	コード 39	4A (J)	UPC-E	53 (S)	MSI
42 (B)	イタリアンファーマコード	4B (K)	UPC-E プト 2	54 (T)	PLESSEY
43 (C)	フィンランドファーマコード	4C (L)	UPC-E プト 5	55 (U)	EAN-128
44 (D)	インターストリアル 2/5	4D (M)	EAN-8 (JAN-8)	56 (V)	UPC-A
45 (E)	インターリーブド 2/5	4E (N)	EAN-8 プト 2	57 (W)	UPC-A プト 2
46 (F)	マトリクス 2/5	4F (O)	EAN-8 プト 5	58 (X)	UPC-A プト 5
47 (G)	コード 93	50 (P)	EAN-13 (JAN-13)		
48 (K)	コード 93	51 (Q)	EAN-13 プト 2	5A (Z)	Telepen
49 (I)	コード 128	52 (R)	EAN-13 プト 5	5B ([)	RSS-14

9. データ編集機能に関する設定

データ編集機能を使うことで、読取データを指定条件に従って、レジスタに編集することができます。
下記にデータ編集機能の特徴を列挙します。

- ✓ 編集パターンを最大 5 パターン (編集パターン 1~5) 迄登録することが可能です。
- ✓ 編集パターンは、個別に有効/無効に設定することが可能です。
- ✓ 各編集パターンには、下記の適用条件を指定することが可能です。
 - ・バーコードシンボルタイプ
 - ・データ桁数
 - ・照合文字列・照合文字列位置
- ✓ 文字列照合又は文字数を基準として、読取データを最大 6 フィールドに分割可能です。
- ✓ ユーザー定義フィールドを最大 5 つ (ユーザー定義フィールド 1~5) 迄登録することが可能です。
- ✓ 分割したフィールド及びユーザー定義フィールドを任意の順序で送信可能です。
送信順序は、最大 12 フィールドの範囲で定義でき、各フィールドは重複送信することも可能です。

データ編集機能設定フロー



9.1. 編集パターン設定開始

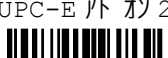
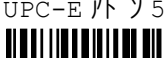
設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

設定を開始する編集パターン1~5の選択		
 1 0 9 9 8 1	編集パターン 1	
 1 0 9 9 8 2	編集パターン 2	
 1 0 9 9 8 3	編集パターン 3	
 1 0 9 9 8 4	編集パターン 4	
 1 0 9 9 8 5	編集パターン 5	

編集パターン全デフォルト  1 0 9 9 9 0	編集パターン設定終了  1 0 9 9 8 0
--	--

9.2. 適用条件

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

適用するバーコードシボタイプの設定			
全バーコードシボ  1 0 9 9 9 2	全てクリア  1 0 9 9 9 1	コーダバ - (NW7)  1 0 1 5 1 3	コーダ 39  1 0 1 5 0 1
コーダ 93  1 0 1 5 1 5	コーダ 128  1 0 1 5 1 7	EAN/JAN-8  1 0 1 5 2 7	EAN/JAN-8 アドオン 2  1 0 1 5 2 9
EAN/JAN-8 アドオン 5  1 0 1 5 3 1	EAN/JAN-13  1 0 1 5 3 3	EAN/JAN-13 アドオン 2  1 0 1 5 3 5	EAN/JAN-13 アドオン 5  1 0 1 5 3 7
EAN-128&RSS  1 0 1 5 1 9	フレッチャーコード  1 0 1 5 0 5	イタリアンフォーマット  1 0 1 5 0 3	インタースリアル 2/5  1 0 1 5 0 7
インタリーブ 2/5  1 0 1 5 0 9	マトリクス 2/5  1 0 1 5 1 1	MSI  1 0 1 5 4 5	PLESSEY  1 0 1 5 4 7
Telepen  1 0 1 5 4 9	UPC-A  1 0 1 5 3 9	UPC-A アドオン 2  1 0 1 5 4 1	UPC-A アドオン 5  1 0 1 5 4 3
UPC-E  1 0 1 5 2 1	UPC-E アドオン 2  1 0 1 5 2 3	UPC-E アドオン 5  1 0 1 5 2 5	

編集パターン全デフォルト  1 0 9 9 9 0	編集パターン設定終了  1 0 9 9 8 0
--	--

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
適用するデータ桁数の設定		
 1 0 1 5 6 1	<u>最大データ桁数</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は0~255です。	0
 1 0 1 5 6 0	<u>最小データ桁数</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は0~255です。	0
数値バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

編集パターン全デフォルト  1 0 9 9 9 0	編集パターン設定終了  1 0 9 9 8 0
--	--

※ データ桁数に関わらず適用したい場合は、最大データ桁数及び最小データ桁数を両方0に設定します。

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

適用する照合文字列の設定		
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 5 6 2	<u>照合文字列</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードをスキャンします。最大4文字が設定可能です。	
適用する照合文字列の照合開始位置の設定		
 1 0 1 5 6 3	<u>照合開始位置</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は0~255です。0を設定した場合は、開始位置に関係無く、照合文字列が読取データ内に存在するかがチェックされます。	
16進数バーコード / 数値バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
A  1 0 9 9 1 0	B  1 0 9 9 1 1	
C  1 0 9 9 1 2	D  1 0 9 9 1 3	
E  1 0 9 9 1 4	F  1 0 9 9 1 5	
確定  1 0 9 9 9 4		

編集パターン全デフォルト  1 0 9 9 9 0	編集パターン設定終了  1 0 9 9 8 0
--	--

※ データ桁数に関わらず適用したい場合は、最大データ桁数及び最小データ桁数を両方0に設定します。

9.3. フィールド 分割定義

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

フィールド 分割開始方向の設定		
コマンド バージョン	説明	デフォルト
 1 0 1 6 0 0	<u>先頭から後方へ</u> 読取データの先頭から後方へ向かって、フィールド 分割を行います。	■
 1 0 1 6 0 1	<u>後方から先頭へ</u> 読取データの後方から先頭へ向かって、フィールド 分割を行います。	
フィールド 調整の設定		
 1 0 1 6 0 2	<u>調整しない</u> 調整をおこないません。	■
 1 0 1 6 0 3	<u>調整する</u> 桁数が指定より少ない場合、スペース(20hex)を補填します。	
分割フィールド 数の設定		
 1 0 1 5 9 0	フィールド を 1 つに分割	■
 1 0 1 5 9 1	フィールド を 2 つに分割	
 1 0 1 5 9 2	フィールド を 3 つに分割	
 1 0 1 5 9 3	フィールド を 4 つに分割	
 1 0 1 5 9 4	フィールド を 5 つに分割	
 1 0 1 5 9 5	フィールド を 6 つに分割	

編集パターン全デフォルト  1 0 9 9 9 0	編集パターン設定終了  1 0 9 9 8 0
--	--

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

各フィールド 分割定義		
フィールド 1 の分割定義		
コマンド バ -コード	説明	デフォルト
 1 0 1 5 6 7	<u>指定文字列で分割</u> 左のコマンド バ -コード をスキャンした後、続けて下記の 16 進数バ -コードで ASCII コード をスキャンします。最大 2 キャラクが設定可能です。また、下記のコマンド バ -コード で、分割後のフィールド に指定文字列を含めるかどうかを設定します。	
 1 0 1 5 6 6	<u>桁数で分割</u> 左のコマンド バ -コード をスキャンした後、続けて下記の数値バ -コード で 3 桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は 1~255 です。	
指定文字列を含める  1 0 1 5 6 5	指定文字列を含めない  1 0 1 5 6 4	
16 進数バ -コード / 数値バ -コード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
A  1 0 9 9 1 0	B  1 0 9 9 1 1	
C  1 0 9 9 1 2	D  1 0 9 9 1 3	
E  1 0 9 9 1 4	F  1 0 9 9 1 5	
確定  1 0 9 9 9 4		

編集パターン全デフォルト  1 0 9 9 9 0	編集パターン設定終了  1 0 9 9 8 0
--	--

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

各フィールド 分割定義		
フィールド 2 の分割定義		
コマンドバ -コード	説明	デフォルト
 1 0 1 5 7 1	<u>指定文字列で分割</u> 左のコマンドバ -コード をスキャンした後、続けて下記の 16 進数バ -コード で ASCII コード をスキャンします。最大 2 キャラクが設定可能です。また、下記のコマンドバ -コード で、分割後のフィールド に指定文字列を含めるかどうかを設定します。	
 1 0 1 5 7 0	<u>桁数で分割</u> 左のコマンドバ -コード をスキャンした後、続けて下記の数値バ -コード で 3 桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は 1~255 です。	
指定文字列を含める  1 0 1 5 6 9	指定文字列を含めない  1 0 1 5 6 8	
16 進数バ -コード / 数値バ -コード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
A  1 0 9 9 1 0	B  1 0 9 9 1 1	
C  1 0 9 9 1 2	D  1 0 9 9 1 3	
E  1 0 9 9 1 4	F  1 0 9 9 1 5	
確定  1 0 9 9 9 4		

編集パターン全デフォルト  1 0 9 9 9 0	編集パターン設定終了  1 0 9 9 8 0
--	--

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

各フィールド 分割定義		
フィールド 3 の分割定義		
コマンドバ -コード	説明	デフォルト
 1 0 1 5 7 5	<u>指定文字列で分割</u> 左のコマンドバ -コード をスキャンした後、続けて下記の 16 進数バ -コード で ASCII コード をスキャンします。最大 2 キャラクが設定可能です。また、下記のコマンドバ -コード で、分割後のフィールド に指定文字列を含めるかどうかを設定します。	
 1 0 1 5 7 4	<u>桁数で分割</u> 左のコマンドバ -コード をスキャンした後、続けて下記の数値バ -コード で 3 桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は 1~255 です。	
指定文字列を含める  1 0 1 5 7 3	指定文字列を含めない  1 0 1 5 7 2	
16 進数バ -コード / 数値バ -コード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
A  1 0 9 9 1 0	B  1 0 9 9 1 1	
C  1 0 9 9 1 2	D  1 0 9 9 1 3	
E  1 0 9 9 1 4	F  1 0 9 9 1 5	
確定  1 0 9 9 9 4		

編集パターン全デフォルト  1 0 9 9 9 0	編集パターン設定終了  1 0 9 9 8 0
--	--

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

各フィールド 分割定義		
フィールド 4 の分割定義		
コマンド バ -コード	説明	デフォルト
 1 0 1 5 7 9	<u>指定文字列で分割</u> 左のコマンド バ -コード をスキャンした後、続けて下記の 16 進数バ -コード で ASCII コード をスキャンします。最大 2 キャラクが設定可能です。また、下記のコマンド バ -コード で、分割後のフィールド に指定文字列を含めるかどうかを設定します。	
 1 0 1 5 7 8	<u>桁数で分割</u> 左のコマンド バ -コード をスキャンした後、続けて下記の数値バ -コード で 3 桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は 1~255 です。	
指定文字列を含める  1 0 1 5 7 7	指定文字列を含めない  1 0 1 5 7 6	
16 進数バ -コード / 数値バ -コード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
A  1 0 9 9 1 0	B  1 0 9 9 1 1	
C  1 0 9 9 1 2	D  1 0 9 9 1 3	
E  1 0 9 9 1 4	F  1 0 9 9 1 5	
確定  1 0 9 9 9 4		

編集パターン全デフォルト  1 0 9 9 9 0	編集パターン設定終了  1 0 9 9 8 0
--	--

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

各フィールド 分割定義		
フィールド 5 の分割定義		
コマンド バ -コード	説明	デフォルト
 1 0 1 5 8 3	<u>指定文字列で分割</u> 左のコマンド バ -コード をスキャンした後、続けて下記の 16 進数バ -コードで ASCII コード をスキャンします。最大 2 キャラクが設定可能です。 また、下記のコマンド バ -コード で、分割後のフィールド に指定文字列を含めるかどうかを設定します。	
 1 0 1 5 8 2	<u>桁数で分割</u> 左のコマンド バ -コード をスキャンした後、続けて下記の数値バ -コード で 3 桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は 1~255 です。	
指定文字列を含める  1 0 1 5 8 1	指定文字列を含めない  1 0 1 5 8 0	
16 進数バ -コード / 数値バ -コード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
A  1 0 9 9 1 0	B  1 0 9 9 1 1	
C  1 0 9 9 1 2	D  1 0 9 9 1 3	
E  1 0 9 9 1 4	F  1 0 9 9 1 5	
確定  1 0 9 9 9 4		

編集パターン全デフォルト  1 0 9 9 9 0	編集パターン設定終了  1 0 9 9 8 0
--	--

※ フィールド 5 で分割され残った部分が自動的に、フィールド 6 に割り付けられます。

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

ユーザ定義フィールドの設定		
設定したいユーザ定義フィールドに対応するマストバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードをスキャンします。最大4キャラクタが設定可能です。		
ユーザ定義フィールド 1  1 0 1 5 8 4	ユーザ定義フィールド 2  1 0 1 5 8 5	ユーザ定義フィールド 3  1 0 1 5 8 6
ユーザ定義フィールド 4  1 0 1 5 8 7	ユーザ定義フィールド 5  1 0 1 5 8 8	
16進数バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
A  1 0 9 9 1 0	B  1 0 9 9 1 1	
C  1 0 9 9 1 2	D  1 0 9 9 1 3	
E  1 0 9 9 1 4	F  1 0 9 9 1 5	
確定  1 0 9 9 9 4		

編集パターン全デフォルト  1 0 9 9 9 0	編集パターン設定終了  1 0 9 9 8 0
--	--

- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード 表」を使って、SHIFT, CTRL, ALT キーのシフトネーション (SHIFT+n, CTRL+n, ALT+n) を定義することができます。SHIFT, CTRL, ALT キーは、1キャラクタとして、加わされます。
- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード 表」を使って、スキャンコードを最大4スキャンコードまで定義することができます。スキャンコードコードは特殊なコードのため、通常は使用しないでください。使用方法については、弊社までご相談ください。

9.4. フィールド送信順序

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

フィールド送信順序設定開始	
 1 0 1 5 8 9	
フィールド 1  1 0 9 9 0 1	フィールド 2  1 0 9 9 0 2
フィールド 3  1 0 9 9 0 3	フィールド 4  1 0 9 9 0 4
フィールド 5  1 0 9 9 0 5	フィールド 6  1 0 9 9 0 6
ユーザー定義フィールド 1  1 0 9 9 0 7	ユーザー定義フィールド 2  1 0 9 9 0 8
ユーザー定義フィールド 3  1 0 9 9 0 9	ユーザー定義フィールド 4  1 0 9 9 1 0
ユーザー定義フィールド 5  1 0 9 9 1 1	
フィールド送信順序設定終了	
 1 0 9 9 9 4	

編集パターン全デフォルト  1 0 9 9 9 0	編集パターン設定終了  1 0 9 9 8 0
--	--

9.5. 編集パターンの有効化

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 3 0 0	編集パターン 1 無効	■
 1 0 1 3 0 1	編集パターン 1 有効	
 1 0 1 3 0 2	編集パターン 2 無効	■
 1 0 1 3 0 3	編集パターン 2 有効	
 1 0 1 3 0 4	編集パターン 3 無効	■
 1 0 1 3 0 5	編集パターン 3 有効	
 1 0 1 3 0 6	編集パターン 4 無効	■
 1 0 1 3 0 7	編集パターン 4 有効	
 1 0 1 3 0 8	編集パターン 5 無効	■
 1 0 1 3 0 9	編集パターン 5 有効	
 1 0 1 2 0 0	データ編集機能をエクスクルーブにしない	■
 1 0 1 2 0 1	データ編集機能をエクスクルーブにする	

※ データ編集機能をエクスクルーブに設定した場合、設定された編集パターンの適用条件に合わない読取データは、全て破棄されます。

10. メリ機能

10.1. 通信圏外メリ機能

通信圏外メリ機能を有効にすることで、通信圏外でキャプされたパケットデータをメモリに蓄積し、通信圏内に復帰すると、メモリしたデータを自動送信させることができます。メモリが一杯になると、アラーム（低音ロングビープ）が鳴動し、赤色 LED が一時点灯します。

通信圏外メリ機能が無効な状態で、通信圏外でキャプを行うと、アラーム（低音ロングビープ）が鳴動し、赤色 LED が一時点灯します。

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドパケット	説明	デフォルト
 1 0 1 0 1 6	通信圏外メリ機能 無効	
 1 0 1 0 1 5	通信圏外メリ機能 有効	■

※ 蓄積されたメモリ内のデータは、リーダの電源が切になったり、電池が完全に無くなってしまうと、消滅します。復帰させることはできませんので、ご注意ください。

✓ SPP マスター及び SPP スレーブ 接続では、通信圏外メリ機能は、正しく動作しません。

10.2. バッチモード

バッチモードを有効にすると、リーダーはスキャンしたバーコードデータを都度無線送信せずに（無線接続無し）、内蔵のフラッシュメモリに蓄積していきます。蓄積したデータは、「メモリデータ送信」で無線送信され、「メモリデータ消去」で消去されます。メモリが一杯になると、リーダーは2回のヨロビープ（高音→低音）を鳴動します。この場合は、「メモリデータ送信」でデータを送信してください。

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 2 3 6	バッチモード 無効	■
 1 0 0 2 3 7	バッチモード 有効	
 1 0 0 2 3 8	コード間送信デレイ 無し	■
 1 0 0 2 3 9	コード間送信デレイ 250 ミリ秒	
 1 0 0 2 4 0	コード間送信デレイ 500 ミリ秒	
 1 0 0 2 4 1	コード間送信デレイ 1 秒	
 1 0 0 2 4 2	コード間送信デレイ 2 秒	
 1 0 0 2 4 3	コード間送信デレイ 3 秒	
 1 0 0 2 4 4	コード間送信デレイ 5 秒	
 1 0 0 2 4 5	コード間送信デレイ 8 秒	
 1 0 9 9 1 8	メモリデータ送信	
 1 0 9 9 1 6 ↓  1 0 9 9 1 7	メモリデータ消去 メモリ内のデータを全て消去する場合は、上から順番にスキャンします。	

補足 A キーボードコード表 & ASCIIコード表

キーボード / USB キーボード インターフェイス コード表									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8
0		F2	SP	0	@	P	`	p	(0)
1	INS	F3	!	1	A	Q	a	q	(1)
2	DLT	F4	"	2	B	R	b	r	(2)
3	HOME	F5	#	3	C	S	c	s	(3)
4	END	F6	\$	4	D	T	d	t	(4)
5	UP	F7	%	5	E	U	e	u	(5)
6	DOWN	F8	&	6	F	V	f	v	(6)
7	LEFT	F9	'	7	G	W	g	w	(7)
8	BS	F10	(	8	H	X	h	x	(8)
9	HT	F11	)	9	I	Y	i	y	(9)
A	LF	F12	*	:	J	Z	j	z	
B	RIGHT	ESC	+	;	K	[	k	{	
C	PgUp	Exec	,	<	L	¥	l		
D	CR		-	=	M	]	m	}	
E	PgDn		.	>	N	^	n	~	
F	F1		/	?	O	_	o	DLY	CR*

ASCIIコード表									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p	
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q	
2	STX	DC2	"	2	B	R	b	r	
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s	
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t	
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u	
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v	
7	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w	
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z	
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	
C	FF	FS	,	<	L	¥	l		
D	CR	GS	-	=	M	]	m	}	
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~	
F	SI	US	/	?	O	_	o	DLE	

1. ファンクションキーは、一部のパソコンで正しく動作しない場合があります。
2. CR*はキーボードの ENTER キーを意味します。
3. DLY は 100 ミリ秒のデレイタイムを意味します。
4. (0) ... (9) はキーボードの 0~9 を意味します。
5. 空白部分は未使用のキャラクタです。

補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード 表

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

キータ입	
ノーマル  1 0 9 9 2 6	スキャンコード  1 0 9 9 3 6
키-스태-타	
SHIFT +  1 0 9 9 3 0	左 CTRL +  1 0 9 9 3 1
右 CTRL +  1 0 9 9 3 3	左 ALT +  1 0 9 9 3 2
右 ALT +  1 0 9 9 3 4	
유-저-定義스캐-ンコード	
スキャンコード 設定  1 0 9 9 8 8	スキャンコード 確定  1 0 9 9 8 9
16 進数バーコード	
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9
A  1 0 9 9 1 0	B  1 0 9 9 1 1
C  1 0 9 9 1 2	D  1 0 9 9 1 3
E  1 0 9 9 1 4	F  1 0 9 9 1 5
確定  1 0 9 9 9 4	

※ 키-타입, 키-스태-타, 유-저-定義스캐-ンコード は、キーボードインターフェイス/USBキーボードインターフェイス専用のパラメータです。

補足 C シリアルコマンド

RS232C インターフェイスのリーダーはシリアルコマンドに対応しています。
専用シリアルコマンドを送信することでリーダーの設定を変更したり、動作を制御することが可能になります。

下記にシリアルコマンドフォーマットを示します。

シリアルコマンドフォーマット

[#@nnnnnn<CR>](#) * <CR>はキャリッジリターン 0Dhex

nnnn には、本書のコマンドバーコード 下にある 6 桁の数字が入ります。設定開始コマンドは必要ありません。

例)

#@102242<CR>	ゲットリードバイトレート有り
#@100307<CR>	インダストリアル 2/5 読み取り有り
#@109999<CR>	設定終了

シリアルコマンドで設定変更を行った場合でも設定終了コマンドを発行せずにリーダーの電源を切にすると、設定内容は消えてしまいます。不揮発性メモリに保存したい場合は、電源を切にする前に設定終了コマンドを発行してください。

特別なシリアルコマンド

[D](#) 動作休止コマンド

このコマンドを受信するとリーダーは、動作を一時休止します。

[E](#) 動作再開コマンド

このコマンドを受信するとリーダーは、先の動作休止コマンドで休止状態にある動作を再開します。

[#@----<CR>](#) 動作休止コマンド

このコマンドを受信するとリーダーは、動作を一時休止します。

[#@....<CR>](#) 動作再開コマンド

このコマンドを受信するとリーダーは、先の動作休止コマンドで休止状態にある動作を再開します。

[#@////<CR>](#) 読取ブザーコマンド

このコマンドを受信するとリーダーは、読取ブザーを鳴らします。この時読取 LED も点灯させます。

[#@TRIGON<CR>](#) トリガ ON コマンド

このコマンドを受信するとリーダーは、バーコードの読み取りを開始します。

[#@TRIGOFF<CR>](#) トリガ OFF コマンド

このコマンドを受信するとリーダーは、バーコードの読み取りを終了します。

※ シリアルコマンドを送信する場合、各コマンド間に最低 500msec の間隔を空けて送信してください。また、設定終了やキャンセルなどリーダーのリセット動作を伴うコマンドの場合は、1 秒以上間隔を空けるようにしてください。

補足 D トラブ ルシューティング

電源が入らない

- ✓ 充電電池パックは正しくセットされていますか？
- ✓ 十分な充電はされていますか？
- ✓ 充電電池パックの寿命ではありませんか？

バーコードを読み取らない

- ✓ 対象のバーコードの品質は悪くないですか？ 汚れたバーコード、劣化したプリンターで印刷したバーコード、複写したバーコードなど、品質の悪いバーコードは読取不良や誤読の原因となりますので避けてください。
- ✓ 対象のバーコードタイプを読み取れるように設定していますか？
- ✓ チェックデジットが付加されていないバーコードに対して、チェックデジット検査有りと設定していませんか？
- ✓ 読取窓は汚れていませんか？

バーコードを読み取りづらい

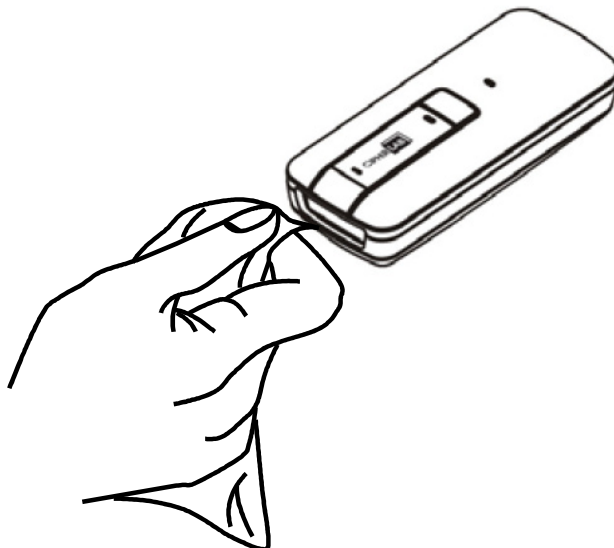
- ✓ 対象のバーコードの品質は悪くないですか？ 品質の悪いバーコードは読取不良や誤読の原因となります。
- ✓ 読取窓は汚れていませんか？

PC にデータが入らない

- ✓ インターフェイスケーブルは正しく接続されていますか？
- ✓ Bluetooth 接続は正しく行われていますか？
- ✓ リーダーがメモリーモードで動作していませんか？
- ✓ リーダーのインターフェイス設定は間違っていないですか？
「3. リーダーの簡単セットアップ」を参照ください。

その他

- ✓ リーダーの読取窓が汚れていると、バーコードの読み取りに時間がかかったり、読めなくなる場合があります。定期的にアルコールなどを湿らせた柔らかい布で拭くようにしてください。



※ 症状に変化がない場合は、弊社又はお近くの販売店までご連絡ください。

補足 E サンプルコード

コード 39



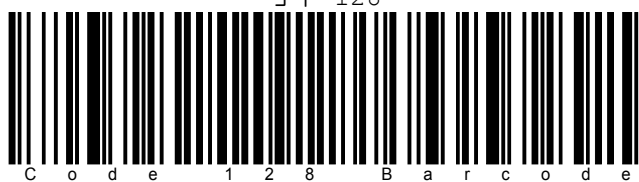
JAN-13



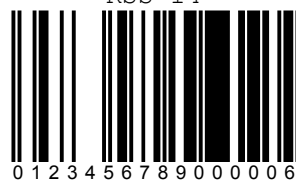
インターピット 2/5 (ITF)



コード 128



RSS-14



PDF417



PDF417 Sample

データマトリクス



DataMatrix

Aztec



Aztec

QR (モデル 2)



QR CODE MODEL 2

反転 QR (モデル 2)



QR Nega

修理依頼書

修理を依頼される場合は、下記の用紙に必要事項を記入し、修理品と一緒に販売店へご返送ください。尚、修理は全てドバツ方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

修理依頼書			
依頼日			
会社名			
部署名			
担当者			
メールアドレス			
電話番号		FAX番号	
ご住所			
販売店名		ご購入日	
製品型番（名称）			
製造番号（S/N）			
付属品	ケーブル[]・ACアダプタ		
トラブルの症状を詳しく記入してください。 また、症状を確認するために必要なバーコードラベルや磁気カード等があれば、修理品に添付してお送りください。			
症状発生頻度 : ☐ 常に起こる ☐ 1日に[]回程度			
インターフェイス : ☐ キーボード ☐ RS232C ☐ USB			
☐ その他 []			
接続ホスト : メーカー []			
型番 []			
その他、使用状況を記入ください。			
返送先			
見積・請求先			
スポットサービス時は、修理見積後に修理をキャンセルされた場合に限り、見積料として弊社所定の料金を申し受けます。ご了承いただける場合は、押印の上、修理品に添付してご返送ください。			ご確認印